

BUSICOM



BC-NL2200U

2次元バーコードリーダー
ユーザーガイド

ご注意

ご使用前に必ず本書をお読みください。

読み終わった後は、大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。

本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植などに関わらず、当社の一切の責任を負いかねます。

本書に指定されている製品以外の別売品を使用した場合の結果として発生したトラブルにつきまして、当社は一切の責任を負いかねます。

分解、修理は行わないでください。

分解や本体からシールラベルを取り外したりすると、製品の保証が無効になります。

お客様の誤った操作取り扱い、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。

本書の内容について記載漏れや誤り、不明点などがございましたらお買い求めの販売店へご連絡ください

。

マニュアル内の図は、実際の製品と異なる場合がございます。

乱丁、落丁はお取り替えいたします。

株式会社ビジコム

〒112-0014

東京都文京区関口 1-20-10 8F

TEL : 03-5229-5190 (代)

改版履歴

バージョン	説明	日付
V1.0.0	初版	2018 年 01 月 09 日
V1.1.0	再編集	2018 年 06 月 06 日
V1.2.0	再編集<シリアルナンバーによって初期状態が変更>	2018 年 12 月 07 日
V.1.3.0	第8章 GS1 バーコードの括弧"()"の付加可能。<FW. V1.01.018 以降>	2019 年 02 月 05 日

目次

ご注意.....	3
改版履歴	4
目次	5
第 1 章 スタートガイド.....	16
イントロダクション	16
ユーザーガイドについて	16
開梱について	16
BC-NL2200U スキャナ	17
データポートのピン配置	18
スキャナをホストに接続する.....	19
USB ケーブル	20
RS-232 ケーブル	20
PS/2 ケーブル	21
通信ケーブルの取り外し.....	21
電源オン/オフ、スリープ、リブート	22
メンテナンス	22
寸法図 (単位: mm).....	23
側面.....	23
前面.....	23
上面.....	24
スキャン手順.....	25
バーコードプログラミング.....	26
工場出荷時設定	27

カスタム 初期設定	27
製品情報 確認	27
第 2 章 通信設定	28
RS-232 インターフェイス	28
ボーレート	29
パリティチェック	30
データビット	30
データビット と パリティチェック	31
ストップビット	31
USB インターフェイス	32
USB ナンバリング管理	32
USB HID-KBW	32
ボーリングレート	33
キーボードの言語設定	34
不明文字 ビープ音 設定	37
インターキーストローク間の遅延	37
コンバートケース	38
エミュレート Alt + キーパッド	39
ファンクションキーマッピング	40
テンキーキーパッド* エミュレート設定	41
コード・ページ	41
USB COM ポートエミュレーション	42
USB HID-POS	42
プログラムでバーコードリーダーにアクセスする	43
スキャンしたデータを取得する	43
スキャナーにデータを送信する	43
VID/PID	44
IBM SurePOS (Tabletop)	44
IBM SurePOS (Handheld)	44
PS/2 インターフェイス	45
第 3 章 スキャンモード	46
バッチモード	46
マニュアルモード	47
読取り間隔タイムアウト	47

レベルトリガー/パルストリガー	48
オートスリープ	48
読取り間隔タイムアウト (同じバーコード)	49
センスモード	50
読取りタイムアウト	50
画像安定化タイムアウト	51
読取り間のタイムアウト	51
読取り間のタイムアウト (同じバーコード)	52
感度設定	53
連続モード	54
読取りタイムアウト	54
読取り間のタイムアウト	54
読取り時のタイムアウト設定 (同一バーコードの読取り不可)	55
第 4 章 スキャン設定	56
イントロダクション	56
読取り領域	56
全領域読取り	56
特定エリア読取り	56
読取り領域を指定する	57
第 5 章 イルミネーション と 照準パターン	59
イルミネーション	59
照準パターン (エイミング)	60
第 6 章 ビープ音と LED 通知	61
電源投入時のビープ音設定	61
非プログラミングバーコードのビープ音の読み取り	61
ビープ音の種類	62
ビープ音のボリューム	62
送信不能文字読取り時のビープ音設定	63
プログラミングバーコードの読取り時ビープ音	63
読取り成功時の LED 点灯設定	63
不正読取り時の設定	64
エラーメッセージを設定する	64

第7章 プリフィックス と サフィックス..... 65

全般設定.....	66
プリフィックス／サフィックスの有効／無効.....	66
プリフィックスシーケンス	66
カスタムプリフィックス	67
カスタムプリフィックスの有効／無効	67
カスタムプリフィックスを設定する.....	67
AIM ID プリフィックス	68
Code ID プリフィックス	68
すべてのデフォルト Code ID を復元する	68
Code ID を変更する	69
カスタムサフィックス.....	72
カスタムサフィックスの有効／無効	72
カスタムサフィックスを設定する.....	72
終端文字 サフィックス	73
終端文字のサフィックスの有効／無効.....	73
終端文字 サフィックスの設定	74

第8章 各種バーコード..... 75

全般設定	75
すべてのシンボル 有効／無効	75
1D バーコードの有効／無効.....	75
2D バーコード の有効／無効	75
反転機能.....	76
1D バーコード.....	77
Code 128	77
Code 128 工場出荷時に戻す	77
Code 128 の有効／無効.....	77
Code 128 の文字長 設定	77
GS1-128 (UCC/EAN-128).....	78
GS1-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す	78
GS1-128 の有効／無効.....	78
GS1-128 の文字長 設定.....	78
AIM-128	79
AIM-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す.....	79
有効/無効 AIM-128.....	79

AIM-128 の文字長 設定	79
EAN-8	80
EAN-8 を工場出荷時のデフォルトに戻す	80
有効/無効 EAN-8	80
チェックデジットの送信	80
アドオンコード	81
アドオンコード必須	82
EAN-8 拡張	82
JAN-13 (EAN-13)	83
JAN-13 (EAN-13) を工場出荷時のデフォルトに戻す	83
有効/無効 JAN-13 (EAN-13)	83
チェックデジットの送信	83
アドオンコード	84
アドオンコード必須	84
JAN-13 (EAN-13) 290 で始まるアドオンコード必須設定	85
JAN-13 (EAN-13) 378/379 で始まるアドオンコード必須設定	85
JAN-13 (EAN-13) 414/419 で始まるアドオンコード必須設定	86
JAN-13 (EAN-13) 434/439 で始まるアドオンコード必須設定	86
JAN-13 (EAN-13) 977 で始まるアドオンコード必須設定	88
JAN-13 (EAN-13) 978 で始まるアドオンコード必須設定	88
JAN-13 (EAN-13) 979 で始まるアドオンコード必須設定	89
ISSN	90
ISSN を工場出荷時のデフォルトに戻す	90
有効/無効 ISSN	90
アドオンコード	91
アドオンコード必須	91
ISBN	92
ISBN を工場出荷時のデフォルトに戻す	92
有効/無効 ISBN	92
ISBN フォーマットを設定する	92
アドオンコード	93
アドオンコード必須	93

UPC-E.....	94
UPC-E を工場出荷時のデフォルトに戻す.....	94
有効/無効 UPC-E.....	94
チェックデジットの送信.....	94
アドオンコード.....	95
アドオンコード必須.....	95
システムキャラクター “0”の送信.....	96
UPC-E 拡張.....	96
UPC-A.....	97
UPC-A を工場出荷時のデフォルトに戻す.....	97
有効/無効 UPC-A.....	97
チェックデジットの送信.....	97
アドオンコード.....	98
アドオンコード必須.....	98
ブリアンブルキャラクターの送信.....	99
Interleaved 2 of 5.....	100
Interleaved 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す.....	100
有効/無効 Interleaved 2 of 5.....	100
Interleaved 2 of 5 の文字長 設定.....	100
チェックデジットを確認する.....	101
Febraban.....	102
無効/有効 Febraban.....	102
送信遅延.....	102
ITF-14.....	104
ITF-6.....	105
Matrix 2 of 5.....	106
Matrix 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す.....	106
有効/無効 Matrix 2 of 5.....	106
Matrix 2 of 5 の文字長 設定.....	106

チェックデジットを確認する	107
Industrial 2 of 5.....	108
Industrial 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す	108
有効/無効 Industrial 2 of 5.....	108
Industrial 2 of 5 の文字長 設定.....	108
チェックデジットを確認する	109
Standard 2 of 5 (IATA 2 of 5)	110
Standard 2 of 5 (IATA 2 of 5) を工場出荷時のデフォルトに戻す	110
有効/無効 Standard 25.....	110
Standard 25 の文字長 設定.....	110
チェックデジットを確認する.....	111
Code 39	112
Code 39 を工場出荷時のデフォルトに戻す.....	112
有効/無効 Code 39.....	112
有効/無効 スタート/ストップ キャラクター送信	112
Code 39 の文字長 設定	113
チェックデジットを確認する	113
有効/無効 Code 39 Full ASCII.....	113
有効/無効 Code 32.....	114
Code 32 プリフィックス.....	114
Code 32 チェックデジットの送信.....	115
Code 32 スタート/ストップ キャラクター送信.....	115
NW7 (Codabar)	116
NW7 (Codabar) を工場出荷時のデフォルトに戻す	116
有効/無効 NW7 (Codabar)	116
NW7 (Codabar) の文字長 設定.....	116
チェックデジットを確認する.....	117
有効 スタート/ストップ キャラクター送信.....	117
スタート/ストップ キャラクター フォーマット.....	118
Code 93	119
Code 93 を工場出荷時のデフォルトに戻す.....	119
有効/無効 Code 93.....	119

Code 93 の文字長 設定	119
チェックデジットを確認する	120
GS1-Databar (RSS).....	121
GS1-Databar (RSS)を工場出荷時のデフォルトに戻す	121
有効/無効 GS1 Databar	121
アプリケーション識別子 "01"送信	121
Code 11	121
Code 11 を工場出荷時のデフォルトに戻す	122
有効/無効 Code 11.....	122
Code 11 の文字長 設定	122
チェックデジットの送信	123
チェックデジットを確認する	123
Plessey	124
Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す	124
有効/無効 Plessey.....	124
Plessey の文字長 設定	124
チェックデジットを確認する.....	125
MSI-Plessey	126
MSI-Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す	126
有効/無効 MSI-Plessey	126
MSI-Plessey の文字長 設定	126
チェックデジットの送信.....	127
チェックデジットを確認する.....	127
2D Symbolologies	128
PDF 417	128
PDF 417 を工場出荷時のデフォルトに戻す	128
有効/無効 PDF 417	128
PDF 417 の文字長 設定.....	128
PDF417 ツインコード	129
文字のエンコード	129
有効/無効 PDF417 ECI 出力.....	130
QR Code	131
QR Code を工場出荷時のデフォルトに戻す	131
有効/無効 QR Code	131

QR Code の文字長 設定	131
Micro QR	131
QR ツインコード	132
文字のエンコード	132
有効/無効 QR ECI 出力	133
長方形タイプ 設定	134
ミラーイメージ	134
Data Matrix ツインコード	135
文字のエンコード	135
有効/無効 Data Matrix ECI 出力	136
Chinese Sensible Code	137
Chinese Sensible Code を工場出荷時のデフォルトに戻す	137
有効/無効 Chinese Sensible Code	137
Chinese Sensible Code の文字長 設定	137
有効/無効 Chinese Sensible Code ECI 出力	138
第 9 章 イメージコントロール	139
画像の反転	139
反転設定	140
垂直方向に反転	140
水平方向に反転	140
第 10 章 データフォーマット	141
イントロダクション	141
データフォーマットを追加する。	141
バーコードによるプログラミング	142
バッチコマンドによるプログラミング	144
有効 データフォーマット	145
シングルスキャンのデータフォーマットの変更	145
有効/無効 データフォーマット	146
不一致エラービープ音	147
データフォーマットの消去	147
データフォーマット情報の確認	148
フォーマットコマンド タイプ 6	149
コマンドの送信	149

移動コマンド.....	153
検索コマンド.....	154
その他のコマンド.....	157
第 11 章 バッチプログラミング	162
イントロダクション	162
バッチコマンドの作成	163
バッチバーコードを作成する	164
バッチバーコードの使す	165
第 12 章 トラブルシューティング	166
FAQ	166
付録	168
付録 1: 工場出荷時の設定	168
付録 2: AIM ID テーブル	178
付録 3: Code ID テーブル.....	181
付録 4: ASCII テーブル	182
付録 5: パラメータプログラミングの例	186
読取り時モードタイムアウトをプログラムする	186
B. アイドルからスリープまでの時間をプログラムする	186
C. 画像安定化タイムアウトをプログラムする	186
D. 読取り時のタイムアウトをプログラムする (同じバーコード)	187
E. イルミネーション変更のしきい値を設定する	187
F. 読取り時のタイムアウトをプログラムする	187
G. 読取り領域をプログラムする.....	188
H. カスタムプリフィックス/サフィックスをプログラムする.....	188
I. 終端文字をプログラムする.....	189
J. Code ID をプログラムする	189
K. 不正な読取りメッセージをプログラムする	189
L. コードページをプログラムする	190
M. 各種バーコードの桁数範囲 (最大桁数/最小桁数) をプログラムする	190
N. カスタム キーストロークの遅延をプログラムする	190
O. Windows 1251 でエンコードされたロシア語の適切な出力を得るためにスキナをプログラムする	191

P. スキャナをプログラミングして、UTF-8 でエンコードされたロシア語を出力する	191
Q. Febraban の 1 桁あたりのカスタム送信遅延をプログラムする	192
R. Febraban の 12 桁あたりのカスタム送信遅延をプログラムする	192
付録 6: 数値バーコード (設定)	193
付録 7: バーコードの保存/取り消し (設定)	195
付録 8: 数値バーコード (タイムアウト)	193
付録 9: バーコードの保存/取り消し (タイムアウト)	195
付録 10: ASCII ファンクションキーマッピングテーブル	199
付録 11: コードページリスト	200
付録 12: シンボル ID Number	201
付録 13: Unicode キーマップ	202



0006010
Enter Setup

第1章 スタートガイド

イントロダクション

BC-NL2200U 2D バーコードリーダー(以下、「BC-NL2200U スキャナ」または「スキャナ」という)は、2D バーコードリーダーの新しい時代をもたらします。

BC-NL2200U の 2D バーコード・デコーダ・チップは、低消費電力で優れた性能と信頼性を提供します。

BC-NL2200U は、GS1-DataBar™(RSS) (Limited / Stacked / Expanded バージョン)だけでなく、主な 1D および標準 2D バーコードシンボル(PDF417、QR コード M1 / M2 / Micro、データマトリックス)を読取れ、様々な媒体(紙、プラスチックカード、携帯電話、LCD ディスプレイ)上のバーコードを読み取ることができます。

ユーザーガイドについて

ユーザーガイドでは、BC-NL2200U のプログラミング手順を説明します。BC-NL2200U は、通常使用であれば、ユーザーガイドの設定を使用することなく使用することができますが、ユーザーガイドに含まれているプログラミング用バーコードをスキャンする事で、BC-NL2200U の高度な設定が可能です。

出荷時の工場設定については、付録 1: 出荷時の設定確認、デフォルト表を参考にしてください。ユーザーガイド内の、アスタリスク(**)は工場出荷時のデフォルト値を表しています。

開梱について

パッケージを開き、BC-NL2200U スキャナーと付属品を取り出します。梱包リストのすべてが存在し、損なわれていないことを確認してください。内容が破損していたり、紛失している場合は、元のパッケージを保管し、販売店にご連絡ください。

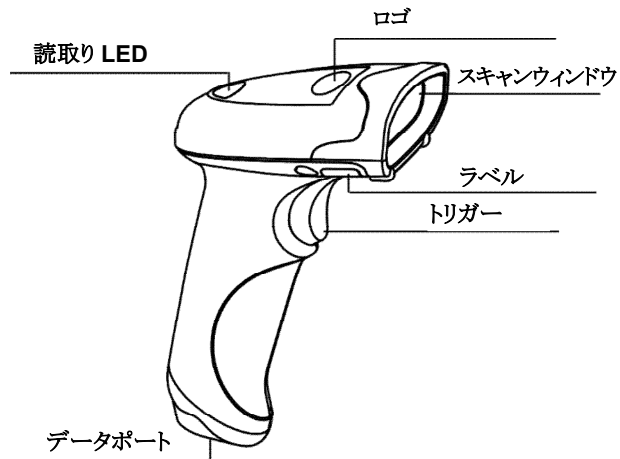


0006000
** Exit Setup



Enter Setup

BC-NL2200U スキャナ



読取り / 電源 LED:

赤色: デバイスの電源投入時

緑色: バーコードの読取り時



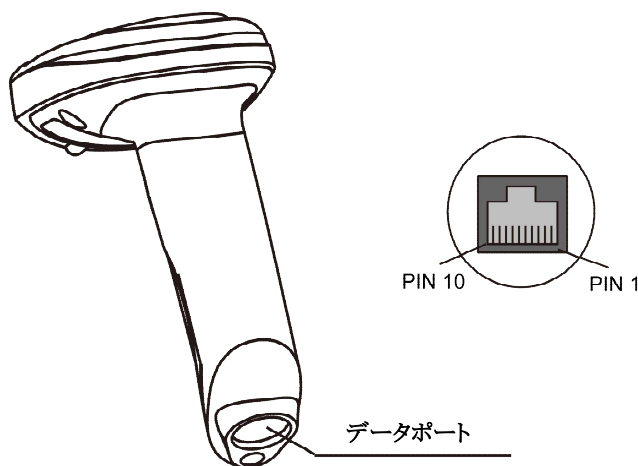
** Exit Setup



0006010

Enter Setup

データポートのピン配置



PIN	シグナル	タイプ	説明
1	KB_CLK	I/O	キーボードクロックシグナル(PS/2)
2	KB_DATA	I/O	キーボードデータシグナル(PS/2)
3	VCC	P	電源+ (DC5V)
4	TXD	O	RS-232 出力
5	RXD	I	RS-232 入力
6	CTS	I/O	PC クロックシグナル(PS/2) / クリア トゥー センド (RS-232)
7	RTS	I/O	PC データシグナル (PS/2) / リクエスト トゥー センド (RS-232)
8	GND	P	グランド
9	D-	I/O	USB シグナル
10	D+	I/O	



0006000

** Exit Setup



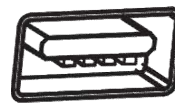
Enter Setup

スキャナをホストに接続する

スキャナは、通信ケーブル(USB または RS-232 ケーブル)を使用して、PC、POS、または USB または RS-232 ポートを備えた任意の端末に接続する必要があります。

USB

ホストの USB ポート



RS-232

ホストの RS-232 ポート



PS/2

ホストの PS/2 ポート



注:ホストのポートを確認し、それに応じてケーブルを購入してください。



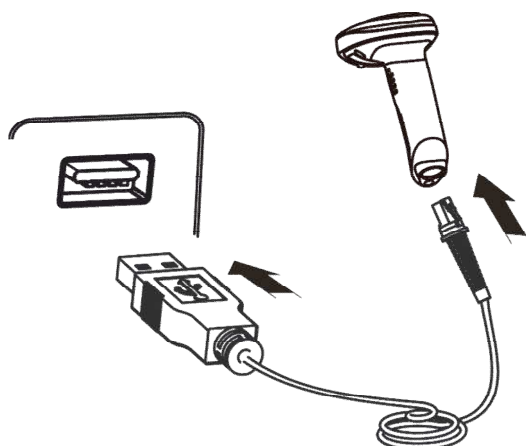
** Exit Setup



0006010

Enter Setup

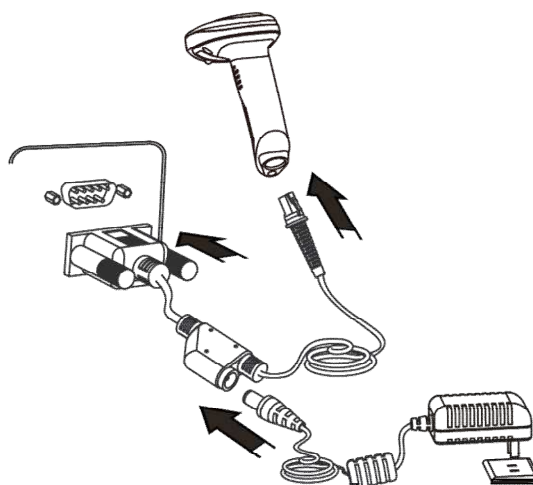
USB ケーブル



本製品の USB ケーブルをホストに接続します。

1. RJ45 コネクタをスキャナのデータポートに差し込みます。
2. USB コネクタをホストの USB ポートに差し込みます。

RS-232 ケーブル



RJ45、RS-232、および電源コネクタ付き RS-232 ケーブルを使用して、スキャナをホストに接続します。

1. RJ45 コネクタをスキャナのデータポートに差し込みます。
2. RS-232 コネクタをホストの RS-232 ポートに差し込みます。
3. 付属の電源アダプタを RS-232 ケーブルの電源コネクタに接続します。



0006000

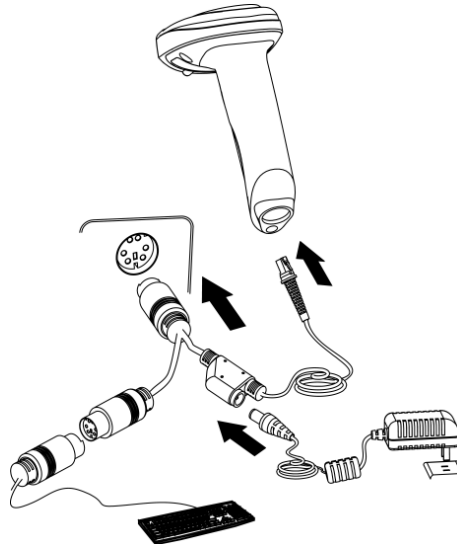
** Exit Setup



0006010

Enter Setup

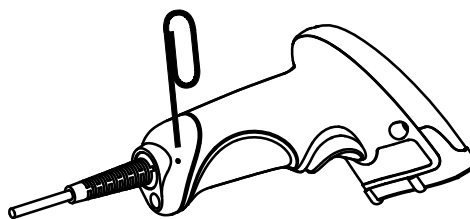
PS/2 ケーブル



RJ45 および PS / 2 コネクタ付きの PS / 2 ケーブルと電源ジャックを使用して、スキャナをホストに接続します。

1. RJ45 コネクタをスキャナのデータスロットに差し込みます。
2. PS / 2 コネクタをホストの PS / 2 ポートに差し込みます。
3. 必要に応じて、電源アダプタを PS / 2 ケーブルの電源ジャックに接続します。
4. 必要に応じて、PS / 2 ポートを介して PS / 2 ケーブルをキーボードに接続します。

通信ケーブルの取り外し



針やクリップをまっすぐにしたをご用意ください。以下の手順で取り外します。:

RS-232 モデルなど電源アダプタがある場合は、電源アダプタを電源から外します。

穴にピンを挿入します。

ピンを押し込みながら、スキャナからケーブルをゆっくり引き出します。

ピンを取り外します。

ホストからケーブルを外します。



0006000

** Exit Setup



Enter Setup

電源オン/オフ、スリープ、リブート

スキャナへ電源を入れる

スキャナをホストに接続します。スキャナがオンになり、自動的にスリープモードに入ります。

スリープモードに入る

デバイスに対して何も操作が実行されないと、デバイスは自動的にスリープ状態になります。

スキャナの電源を切る

通信ケーブルをスキャナから取り外します。または通信ケーブルをホストから取り外します。または RS-232 ケーブルの場合、電源アダプタを主電源から切り離します。

スキャナを再起動する

スキャナが入力に応答しなくなったり異常な動作をした場合は、上記の「スキャナの電源を切る」の操作を行い再度を投入してください。

メンテナンス

1. スキャンウィンドウをきれいに保つ必要があります。
2. スキャンウィンドウを傷つけないでください。
3. ソフトブラシなどを使用して、スキャンウィンドウから汚れを取り除きます。
4. 眼鏡クリーニングクロスなどの柔らかい布を使用して、スキャンウィンドウをきれいにします。
5. スキャンウィンドウに液体をスプレーしないでください。
6. 洗浄するために洗剤を使用しないでください。

注: 保証は、不適切なケアおよびメンテナンスに起因する損害には適用されません。



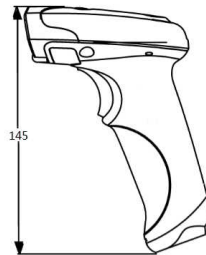
** Exit Setup



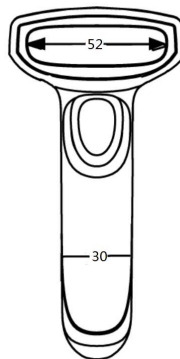
Enter Setup

寸法図 (単位: mm)

側面



前面

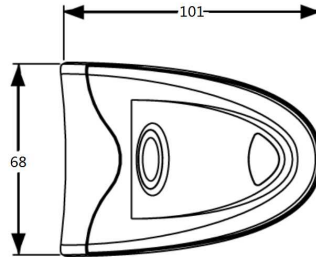


** Exit Setup



Enter Setup

上面



** Exit Setup



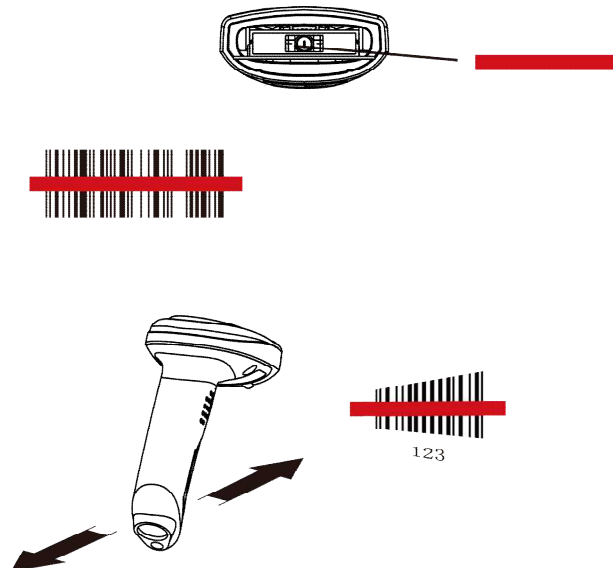
Enter Setup

スキャン手順

スキャナが手動スキャンモードになっているときは、以下の手順でバーコードをスキャンできます。

- 1.トリガーを押し続けます。スキャナは赤い照準ビームを投射します。
- 2.次のように、赤いビームをバーコードの中央に向けます。
- 3.赤色のビームが消えると、トリガーを放します。バーコードが正常に復号化されると、スキャナは読取り成功時ビープを発し、復号化されたデータはホストに送信されます。

注:同じバッチのバーコードの場合、スキャナーは一定の距離で非常に高い成功率を維持し、これが最適なスキャン距離とみなされます。



** Exit Setup



Enter Setup

バーコードプログラミング

Enter Setup バーコードをスキャンすると、スキャナがセットアップモードに入ることができます。次に、プログラミング用のバーコードをスキャンしてスキャナを設定します。セットアップモードを終了するには、Exit Setup バーコードをスキャンします。

スキャナがセットアップモードを終了した場合、Enter Setup バーコードや「すべての設定を工場出荷時設定に戻す」バーコードなどの特殊なプログラミングバーコードのみを読み取ることができます。



Enter Setup



** Exit Setup

プログラミングバーコードデータをホストに送信することができます。ホストにプログラミングバーコードデータを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。

スキャナを再起動すると、バーコードデータのホストへの送信が自動的に無効になります。



有効 プログラミングバーコードデータ 送信



**無効 プログラミングバーコードデータ 送信



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

工場出荷時設定

次のバーコードをスキャンすると、工場出荷時の設定に戻すことができます。詳細は付録1:「工場出荷時設定表」を参照してください。

注意:この機能は慎重に使用してください。



@FACDEF

すべての設定を工場出荷時設定に戻す

カスタム 初期設定

カスタム設定は頻繁に使用される設定をスキャナに保存することを可能にします。

「ユーザーデフォルトとして保存」バーコードは、現在の設定をカスタムデフォルトとして保存できます。「カスタムデフォルトへ復元」バーコードをスキャンすることで、いつでも元の設定にもどることができます。

カスタムデフォルトは不揮発性メモリに保存されます。スキャナを工場出荷時設定に戻してもスキャナのデフォルト値は削除されません。



0001150

カスタムデフォルトとして保存



0001160

カスタムデフォルトへ復元

製品情報 確認

以下のバーコードをスキャンして、スキャナの情報（ファームウェアのバージョン、モデル番号、シリアル番号、製造日など）を照会することができます。結果はホストに送信されます。



9876537

製品情報 確認



0006000
** Exit Setup



Enter Setup

第 2 章 通信設定

スキャナは、ホストと通信するために RS-232 インターフェイスと USB インターフェイス、および PS / 2 インターフェイスを備えています。ホストは、データを受信し、スキャナを制御するためのコマンドを送信したり、又はインターフェイスを介してスキャナの設定情報を変更することができます。

RS-232 インターフェイス

スキャナがホストの RS-232 ポートに接続されると、スキャナは RS-232 通信を自動的に有効にします。ただし、スキャナに通信パラメータ(ボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビットを含む)を設定して、2 つの機器が通信できるようにホスト機器を合わせる必要があります。



RS-232

シリアル通信の初期値を以下に示します。すべてのパラメータがホスト要件と一致していることを確認してください。

パラメータ	工場出荷設定
ボーレート	9600
パリティチェック	なし
データビット	8
ストップビット	1
フロー制御	なし



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ボーレート

ボーレートは 1 秒間に送信されるデータのビット数です。ホスト要件に合わせてボーートを設定します。



0100030

**** 9600**



0100000

1200



0100050

19200



0100010

2400



0100060

38400



0100020

4800



0100070

57600



0100040

14400



0100080

115200



0006000

**** Exit Setup**



Enter Setup

パリティチェック

データビットの数が7に設定されている場合、偶数パリティまたは奇数パリティのいずれかのみを選択できます。この場合、「パリティチェック なし」は偶数パリティと見なされます。



** パリティチェック なし



偶数パリティ



奇数パリティ

データビット

データビットの数が7に設定されている場合、偶数パリティまたは奇数パリティのいずれかを選択できます。



7 データビット



** 8 データビット



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

データビット と パリティチェック



0105010

7 データビット/偶数パリティ



0105020

7 データビット/奇数パリティ



0105030

**** 8 データビット/ No Parity**



0105040

8 データビット/偶数パリティ



0105050

8 データビット/奇数パリティ

ストップビット



0102000

**** 1 ストップビット**



0102010

2 ストップビット



0006000

**** Exit Setup**



Enter Setup

USB インターフェイス

USB ナンバリング管理

バーコードリーダーが USB 接続を介してホストに接続されている場合、電源投入後 S / N または "00000000"を使用してバーコードリーダーに個別のナンバリング管理ができます。(Windows の場合、デバイスマネージャーにナンバリングが表示されます。)S / N を使用したナンバリング管理により、複数、同型のバーコードリーダーを接続していても、ホストデバイスは区別できます。"00000000"を使用したナンバリング管理は、同型のバーコードリーダー間でホストデバイスの使用を無効にします。ドライバのインストールは、各バーコードリーダー毎に必要です。



Enumeration Using S/N



** Enumeration Using "00000000"

USB HID-KBW

USB 接続を介してスキャナをホストデバイスに接続するときは、下のバーコードをスキャンして USB HID-KBW 機能を有効にすることができます。スキャナの送信は、USB キーボード入力としてシミュレートされます。ホストデバイスは、仮想キーボードのキーストロークを受信します。これはプラグアンドプレイで動作し、ドライバは必要ありません。



** USB HID-KBW



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ポーリングレート

このパラメータは、USB キーボードのポーリングレートを指定します。ホストが文字を読みこぼす場合、ポーリングレートをより大きな値に変更します。



1103170

**** 1ms**



1103171

2ms



1103172

3ms



1103173

4ms



1103174

5ms



1103175

6ms



1103176

7ms



1103177

8ms



1103178

9ms



1103179

10ms



0006000

**** Exit Setup**



Enter Setup

キーボードの言語設定

キーボードレイアウトは国によって異なります。デフォルト設定は「JAPAN」キーボードです。



1103201

U.S.



1103202

Belgium



1103203

Brazil



1103204

Canada



1103205

Czechoslovakia



1103206

Denmark



1103207

Finland



1103208

France



**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup



1103209

Germany, Austria



1103210

Greece



1103211

Hungary



1103212

Israel



1103213

Italy



1103214

Latin America, South America



1103215

Netherlands



1103216

Norway



1103217

Poland



1103218

Portugal



0006000

**** Exit Setup**



Enter Setup



1103219

Romania



1103220

Russia



1103221

Slovakia



1103222

Spain



1103223

Sweden



1103224

Switzerland



1103225

Turkey_F



1103226

Turkey_Q



1103227

UK



1103228

**Japan

注: Windows 1251 または UTF-8 (PDF417 / QR コード/データマトリックス) でエンコードされたロシア語の適切な出力を得るようにスキャナを設定するには、付録 5 を参照してください。



** Exit Setup



Enter Setup

不明文字 ビープ音 設定

キーボードレイアウトの違いにより、選択されたキーボードでバーコードデータに含まれる一部の文字が使用できない場合があります。その結果、スキャナは未知の文字を送信することができません。

以下の該当するバーコードをスキャンして、未知の文字が検出されたときにビープ音を鳴らすかどうかを設定します。



有効 不明文字 ビープ音 設定



**無効 不明文字 ビープ音 設定

インターキーストローク間の遅延

このパラメータは、エミュレートされたキーストローク間の遅延を指定します。0ms～75ms まで 5ms 刻みでプログラム可能です。カスタム遅延を設定する方法については、付録 5 を参照してください。



** 遅延なし



遅延 短 (20ms)



遅延 長 (40ms)



カスタム 遅延



** Exit Setup



Enter Setup

コンバートケース

下の該当するバーコードをスキャンして、バーコードデータを目的のケースに変換します。



**コンバートケース無し



大文字と小文字の反転



大文字にすべて変換



小文字にすべて変換

例:「大文字と小文字の反転」機能が有効な場合、バーコードデータ「AbC」は「aBc」として送信されます。



** Exit Setup



Enter Setup

エミュレート Alt + キーパッド

この機能では、どのキーボードタイプが選択されていても、テンキーパッドで任意の ASCII 文字 (0x00～0xFF) を送ることができます。キャラクタの送信には複数のキーストロークエミュレーションが必要なため、この方法はあまり効率的ではありません。

次のオプションを使用できます。

無効: ALT + キーパッドでは ASCII 文字は送信されません。

有効: 選択されたキーボードタイプではサポートされていないが、0x20～0xFF に該当する ASCII 文字は ALT + キーパッドの方法で送信されます。



@KBWALT0

** 無効



@KBWBUC1

有効

例: US キーボードを選択すると、バーコードデータ "ADF" (65/208/70) が次のように送信されます。

"A" - "ALT Make" + "065" + "ALT Break"

"D" - "ALT Make" + "208" + "ALT Break"

"F" - "ALT Make" + "070" + "ALT Break"



** Exit Setup



Enter Setup

ファンクションキーマッピング

ファンクションキーマッピングを有効にすると、ファンクション文字(0x00~0x1F)が ASCII シーケンスとしてキーパッドに送信されます。詳細については、付録 8:ASCII ファンクションキーマッピングテーブルを参照してください。




有効 ファンクションキーマッピング



** 無効 ファンクションキーマッピング

例: バーコードデータ 0x16

 T	有効 ファンクションキーマッピング	Ctrl+V
	無効 ファンクションキーマッピング	F1



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

テンキーキーパッド エミュレート設定

この機能を無効にすると、バーコードデータはメインキーボードのキーストロークとしてエミュレートされます。

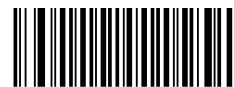
この機能を有効にするには、「有効 テンキーキーパッド エミュレート設定」バーコードをスキャンします。

数値(0-9)の送信は、テンキーパッドのキーストロークとしてエミュレートされます。ここでは、「+」、「-」、「*」、「/」、「.」のような他の文字を送信すると、メインのキーストロークとしてエミュレートされます。



1103110

** 無効 テンキーキーパッド エミュレート設定



1103120

有効 テンキーキーパッド エミュレート設定

コード・ページ

コードページのプログラミング機能は、より国際的な文字をサポートするために提供されています。この機能は、Altキー+キーパッドの方法でASCII文字が送信される場合にのみ有効です。コードページをプログラミングするには、数値のバーコードをスキャンする必要があります(詳細については、付録9:コードページリストを参照してください)。デフォルトのコードページはWindows 1252(ラテン語)です。

本設定のプログラム方法は、付録5を参照してください。



@KBWCPG0

コードページ設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

USB COM ポートエミュレーション

USB 接続を介してスキャナをホストに接続すると、USB COM ポートエミュレーション機能により、ホストはシリアルポートのようにデータを受信できます。この機能にはドライバが必要です。



1100060

USB COM Port Emulation

USB HID-POS

イントロダクション

新しいアプリケーションプログラムには、USB HID-POS インターフェイスが推奨されます。1 つの USB レポートで最大 56 文字を送信でき、キーボードエミュレーションより効率的です。

特徴:

- ✧ HID ベース。ドライバは必要ありません。
- ✧ キーボードエミュレーションや従来の RS-232 インターフェイスより通信効率が向上します。
- ✧

注:USB HID-POS は、ドライバを必要としません。すべての HID インターフェイスは、オペレーティングシステムによって提供される標準ドライバを使用します。ドライバをインストールするときは、デフォルトを使用します。



1100080

USB HID-POS

0006000

**** Exit Setup**



Enter Setup

プログラムでバーコードリーダーにアクセスする

CreateFile を使用してバーコードリーダーを HID デバイスとして接続し、次に ReadFile を使用してスキャンしたデータをアプリケーションプログラムに配信します。 WriteFile を使用して、バーコードリーダーにデータを送信します。

USB および HID インターフェイスの詳細については、www.USB.org を参照してください。

スキャンしたデータを取得する

バーコードをスキャンして読取りした後、スキャナは次の入力レポートを送信します。

	Bit							
Byte	7	6	5	4	3	2	1	0
0	Report ID = 0x02							
1	Length of the barcode							
2-57	Decoded data (1-56)							
58-60	AIM ID							
61-62	Reserved							
63	-	-	-	-	-	-	-	Decoded Data Continued

スキャナーにデータを送信する

この出力レポートは、デバイスにデータを送信するために使用されます。すべてのプログラミングコマンドを使用できます。

	Bit							
Byte	7	6	5	4	3	2	1	0
0	Report ID = 0x04							
1	Length of the output data							
2-63	Output data (1-62)							



** Exit Setup



Enter Setup

VID/PID

USB は VID (ベンダ ID) と PID (プロダクト ID) を使用してデバイスを識別し、位置を特定します。VID は USB Implementers Forum によって割り当てられます。本製品のベンダーID は 1EAB (Hex) です。各インターフェイスには PID が割り当てられます。

製品	インターフェイス	PID (Hex)	PID (Dec)
BC-NL2200U	USB HID-KBW	1A03	6659
	USB COM ポート エミュレーション	1A06	6662
	USB HID-POS	1A10	6672
	IBM SurePOS	1A20	6688

IBM SurePOS (Tabletop)



IBM SurePOS (Tabletop)

IBM SurePOS (Handheld)



IBM SurePOS (Handheld)



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

PS/2 インターフェイス

スキャナがホストデバイスの PS / 2 ポートに接続されている場合は、下の PS / 2 バーコードをスキャンしてインターフェイスを有効にします。 外部キーボードが接続されていない場合は、[外部キーボードが接続されていません] オプションを選択する必要があります。



1100070
PS/2



1106010
外付けキーボード 未接続



1106011
****外付けキーボード 接続**



0006000
**** Exit Setup**



Enter Setup

第 3 章 スキャンモード

バッチモード

トリガーを引くことにより、複数回読取りを行います。トリガーを放すまで、トリガーを放すまで、複数回のスキャンが続きます。ただし、次にトリガーを引くまで同じバーコードを読み返すことはできません。



Batch Mode



**** Exit Setup**



Enter Setup

マニュアルモード

トリガーを引くことで読取りが開始され、バーコードを読取りされるか、トリガーを解放するか、読取りタイムアウトがされるまで続きます。



** マニュアルモード

読取り間隔タイムアウト

このパラメータは、1つの読取り終了から次のセッションの開始までの時間を設定します。100msから3,600,000msまで1ms刻みでプログラム可能です。0に設定すると、タイムアウトは無限になります。デフォルトのタイムアウトは3,000msです。このパラメータをプログラムするには、「読取り間隔タイムアウト」バーコード、「数字バーコード」、および保存バーコードをスキャンします。



読取り間隔タイムアウト



** Exit Setup



Enter Setup

レベルトリガー/パルストリガー

レベルトリガー: スキャンの試行中、トリガーが解除されると読取りが終了します。

パルストリガー: スキャンの試行中、トリガーの開放は読取りに影響しません。



**レベルトリガー



パルストリガー

オートスリープ

オートスリープ機能を使用すると、操作や通信が一定時間実行されない場合(ユーザーがプログラム可能な場合)、マニュアルモードのスキナは自動的にスリープに入ることができます。スキナがスリープモードになっているときに、ホストデバイスからトリガまたは受信コマンドを押すと、スキナが起動します。スキナは 100ms 以内に完全動作に戻ります。



有効 オートスリープ



** 無効 オートスリープ

以下のパラメータは、スリープモードに入る前にスキナがアイドル状態(操作なしまたは通信中)になる時間を指定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。デフォルト設定は 500ms です。このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください。



アイドルからスリープまでの時間



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

読取り間隔タイムアウト (同じバーコード)

読取り間隔タイムアウト(同一バーコード)は、一定時間内に同じバーコードが望ましくない再読みをしないようにすることができます。

読取り間隔タイムアウト(同じバーコード)を有効または無効にするには、下の適切なバーコードをスキャンします。

有効 読取り間隔タイムアウト (同じバーコード):読取り間隔タイムアウト(同じバーコード)が切れる前にスキャナが同じバーコードを再読み取りすることを許可しないでください。

無効 読取り間隔タイムアウト (同じバーコード):読取り間隔タイムアウト(同じバーコード)を無視して、スキャナが同じバーコードを再読み取りできるようにします。



0313161

**** 無効 読取り間隔タイムアウト (同じバーコード)**



0313171

有効 読取り間隔タイムアウト (同じバーコード)

次のパラメータは、同じバーコードでの読取り間隔タイムアウトを設定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。デフォルト設定は 1,500ms です。

このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください。



0313010

読取り間隔タイムアウト設定 (同じバーコード)



0006000
**** Exit Setup**



0006010
Enter Setup

センスモード

スキャナは、周辺照明の変化を検出するたびに読取りを開始します。読取り時は、バーコードが読み取られるか、読取りタイムアウトが切れるまで続きます。センスモードでは、トリガーを引くことで読取りを開始することもできます。センスモードでは、トリガーを引くことで読取りを開始することもできます。読取り時は、バーコードが読み取られるか、またはトリガーが解放されるまで続きます。セッションが終了すると、スキャナは周辺照明を監視し続けます。



0302010
センスモード

読取りタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中に読取りが継続する最大時間を設定します。100ms から 3,600,000ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。0 に設定すると、タイムアウトは無限になります。デフォルト設定は 3,000ms です。このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください。



0313000
読取りタイムアウト



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

画像安定化タイムアウト

このパラメータは、スキャナが画像を安定させてより正確に読取りできるまで待機する時間を定義します。0ms から 1,600ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。デフォルト設定は 500ms です。このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください。



0313120
画像安定化タイムアウト

読取り間のタイムアウト

このパラメータは、読取りの間隔のタイムアウトを設定します。読取りが終了すると、読取り間隔のタイムアウトが切れるまで次のセッションは発生しません。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。デフォルト設定は 1,000ms です。このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください。



0313040
読取り間のタイムアウト



0006000
**** Exit Setup**



Enter Setup

読取り間のタイムアウト(同じバーコード)

読取り間のタイムアウト(同一バーコード)は、一定時間内に同じバーコードが望ましくない再読みをしないようにすることができます。

読取り間タイムアウト(同一バーコード)を有効/無効にするには、以下の該当するバーコードをスキャンします。

有効 読取り間のタイムアウト(同じバーコード):読取り間のタイムアウト(同じバーコード)が切れる前にスキャナが同じバーコードを再読み取りすることを許可しないでください。

無効 読取り間のタイムアウト(同じバーコード):スキャナが同じバーコードを再読み取りできるようにします。



****無効 読取り間のタイムアウト(同じバーコード)**



有効 読取り間のタイムアウト(同じバーコード)

次のパラメータは、同じバーコードの読取り間のタイムアウトを設定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。デフォルト設定は 1,500ms です。

このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください。



読取り間のタイムアウト(同じバーコード)



**** Exit Setup**



Enter Setup

感度設定

感度は、周辺照明の変化に対するスキャナの応答の鋭さの程度を指定します。感度が高ければ高いほど、照明を変化させてスキャナをトリガする必要性が低くなる。周囲環境に適した適切な感度を選択できます。



感度 中



感度 低



感度 高



感度 強化

上記、4つの設定でも問題が起きる場合、明るさのしきい値を設定することができます。バーコードリーダーは、しきい値に達する明るさになると読取りモードを開始させます。しきい値が低いほど、バーコードリーダーの感度が高くなります。デフォルトのしきい値は2です。この設定を行う場合、付録5を参照してください。



照明変化のしきい値(1~20)



** Exit Setup



Enter Setup

連続モード

連続モードが有効な場合、スキャナは自動的に 1 つの読取りセッションを開始します。バーコード読み取りを中断/再開するには、単にトリガーを押します。



連続モード

読取りタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中に読取りが継続する最大時間を設定します。100ms から 3,600,000ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。0 に設定すると、タイムアウトは無限になります。デフォルト設定は 3,000ms です。このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください。



読取りタイムアウト

読取り間のタイムアウト

このパラメータは、読取り間のタイムアウトを設定します。読取りが終了すると、読取り間のタイムアウトが切れるまで次のセッションは発生しません。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みでプログラム可能です。デフォルト設定は 1,000ms です。このパラメータをプログラミングする方法については、付録 5 を参照してください



読取り間のタイムアウト



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

読取り時のタイムアウト設定(同一バーコードの読取り不可)

読取り時のタイムアウト設定(同一バーコードの読取り不可)は、意図しない同一バーコードを一定時間内に再読みしないようにできます。

読取り時のタイムアウト設定を有効または無効にするには、以下のバーコードをスキャンします。

有効 読取り時のタイムアウト設定:一定時間内に、同じバーコードをバーコードリーダーが再び読み取らないようにします。

無効 読取り時のタイムアウト設定:同じバーコードを再読取りできるようにします。



0313020
**** 無効 読取り時のタイムアウト設定**
(同一バーコードの読取り不可)



0313030
有効 読取り時のタイムアウト設定
(同一バーコードの読取り不可)

この設定は、同じバーコードの読取り時のタイムアウトを設定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 1,500ms です。

この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313010
読取り時のタイムアウト 設定
(同一バーコードの読取り不可)



0006000
**** Exit Setup**



Enter Setup

第4章 スキャン設定

イントロダクション

この章では、環境設定でさまざまなアプリケーションにバーコードリーダーを適応させる方法について説明します。例えば、バーコードリーダーの視野を狭めて、ユーザが意図したバーコードのみを読み取るようにする設定などを紹介しています。

読取り領域

全領域読取り

この設定が[有効]の場合、バーコードリーダーは視野内のバーコードを中央から周辺に読取りしようとし、最初に読取りされたバーコードを送信します。



**全領域読取り

特定エリア読取り

この設定を使用すると、スキャナが視野を狭めて、ユーザーが意図したバーコードのみを読み取るようにすることができます。例えば、複数のバーコードが密接に一緒に配置されている場合、読取り領域を調整して希望したバーコードのみが読み取る事が可能です。



特定エリア読取り



** Exit Setup



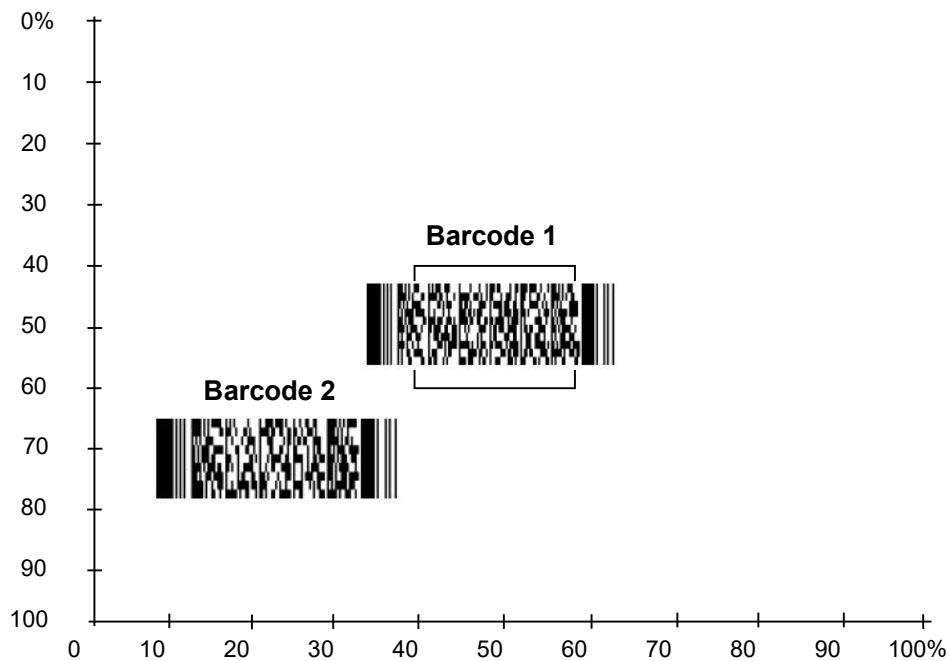
Enter Setup

読取り領域を指定する

特定の領域の読取りが有効な場合、スキャナはあらかじめ定義された読取り領域と交差するバーコードのみを読取ります。

下の図に示すように、デフォルトの読取り領域は、スキャナの視野の上部 40%、下部 60%、左 40%、右 60%の領域です。次の例では、白いボックスが読取り領域です。バーコード 1 は復号領域を通過するので、それが読み取られます。バーコード 2 は読取り領域を通過しないため、読み取られません。

読取り領域の最上部、読取り領域の最下部、読取り領域の左および読取り領域の右端のバーコード、および希望のパーセンテージ(0~100)を表す数値バーコードを使用して、読取り領域を定義できます。読取り領域のプログラム方法については、付録 5 を参照してください。



** Exit Setup



Enter Setup



0322030

読取り領域 上部



0322040

読取り領域 下部



0322050

読取り領域 左部



0322060

読取り領域 右部



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

第 5 章 イルミネーション と 照準パターン

イルミネーション

画像取り込み中の照明設定をすることが可能です。

通常： 画像取り込み中に LED が点灯します。

常時点灯： LED は常に点灯します。

無効： LED は常に消灯になります。



0200000
** 通常



0200020
無効



0200010
常時点灯



0006000
** Exit Setup



Enter Setup

照準パターン(エイミング)

スキャナは、バーコードの読取りを簡単にするため、赤い光の**照準パターン**(エイミング)を投影します。

通常:スキャナはバーコードスキャン/キャプチャ中にのみ**照準パターン**(エイミング)を有効にします。

常時点灯:スキャナの電源をオンにした後、**照準パターン**(エイミング)が常時点灯

無効:常に**照準パターン**(エイミング)は、発光しません。



** 通常



無効



常時点灯



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

第 6 章 ビープ音と LED 通知

電源投入時のビープ音設定

電源投入時のビープ音設定



0204001

** 有効



0204000

無効

非プログラミングバーコードのビープ音の読み取り

以下のバーコードをスキャンし有効にするか、プログラミングされていないバーコードが読み取ったときにビープ音を鳴らします。ビープ音の種類(周波数)とを設定できます。



0203010

** 有効



0203000

無効



0006000
** Exit Setup



Enter Setup

ビープ音の種類



0203020

タイプ 1



0203022

** タイプ 3



0203021

タイプ 2

ビープ音のボリューム



0203030

音量 大



0203032

**音量 小



0203031

音量 中



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

送信不能文字読取り時のビープ音設定

キーボードレイアウトの違いにより、バーコードデータに含まれる一部の文字が、選択したキーボード(USB HID-KBW)で使用できない場合があります。その結果、スキャナは未知の文字を送信することができません。以下の該当するバーコードをスキャンして、未知の文字が検出されたときにビープ音を鳴らすかどうかを設定します。



1103031
ビープ音を鳴らす



1103030
** ビープ音を鳴らさない

プログラミングバーコードの読取り時ビープ音



0203041
**有効 プログラミングバーコードの読取り時ビープ音



0203040
無効 プログラミングバーコードの読取り時ビープ音

読取り成功時の LED 点灯設定



0206011
**有効 読取り成功時の LED 点灯設定



0206010
無効 読取り成功時の LED 点灯設定



0006000
** Exit Setup



Enter Setup

不正読取り時の設定

バーコードが読取りできない場合、ユーザーが定義したエラーメッセージを送信するかどうかを選択します。



有効 読取り失敗時 メッセージ



**無効 読取り失敗時 メッセージ

エラーメッセージを設定する

バーコードが読取りできない場合に、ユーザーが定義したエラーメッセージを送信するには、「読取り失敗時 メッセージ設定」バーコードをスキャン。目的の文字の ASCII 16 進値に対応する数値バーコードをスキャン。付録 7 の「保存」バーコードをスキャンします。

エラーメッセージは、0～7 文字を指定できます。



読取り失敗時 メッセージ設定



** Exit Setup



Enter Setup

第 7 章 プリフィックス と サフィックス

多くのアプリケーションでは、バーコードデータを編集して区別する必要があります。

通常、AIM ID とコード ID を識別子として使用できますが、特別な場合には、カスタマイズされたプリフィックスとサフィックス(キャリッジリターンや改行など)を使用することもできます。

データの編集方法：

- ・ 読取りされたデータの前に AIM ID /コード ID /カスタムプリフィックスを付加する。
- ・ 読取りされたデータの後にカスタムサフィックスを追加する。
- ・ 読取りされたデータの終端に文字を付加する。

バーコードデータを編集するときは、以下のフォーマットを使用できます。：

- ・ [コード ID] + [カスタムプリフィックス] + [AIM ID] + [データ] + [カスタムサフィックス] + [終端文字]
- ・ [カスタムプリフィックス] + [コード ID] + [AIM ID] + [データ] + [カスタムサフィックス] + [終端文字]

注:[データ]は必ず送信しますが、残りの上記部分は送信するかどうかを決定できます。



** Exit Setup



Enter Setup

全般設定

プリフィックス／サフィックスの有効／無効

- 無効 プリフィックス／サフィックス: プリフィックス/サフィックスなしのバーコードデータを送信する。
- 有効 プリフィックス／サフィックス: 送信前にコード ID プリフィックス、AIM ID プリフィックス、カスタムプリフィックス／サフィックスと終端文字をバーコードデータに付加することができます。



有効 すべてのプリフィックス／サフィックス



無効 すべてのプリフィックス／サフィックス

プリフィックスシーケンス



Code ID+カスタムプリフィックス+AIM ID



** カスタムプリフィックス+Code ID+AIM ID



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

カスタムプリフィックス

カスタムプリフィックスの有効／無効

カスタムプリフィックスが有効な場合は、10文字以下のプリフィックスをデータに追加することができます。



有効 カスタムプリフィックス



** 無効 カスタムプリフィックス

カスタムプリフィックスを設定する

カスタムプリフィックスを設定するには、「カスタムプリフィックス設定」バーコードと目的のプリフィックスの16進数値を表す数値バーコードをスキャンし、保存バーコードをスキャンします。文字の16進値については付録4:ASCIIテーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録5:パラメータプログラミングの例を参照してください。

注: カスタムプリフィックスは10文字以下までしか設定できません。



カスタムプリフィックス 設定



0006000
** Exit Setup



Enter Setup

AIM ID プリフィックス

AIM (Automatic Identification Manufacturers) ID と ISO / IEC 15424 規格は、シンボル識別子とデータキャリア識別子を定義しています。(詳細については、付録 2: AIM ID テーブルを参照してください。AIM ID プリフィックスが有効な場合、スキャナは読取り後にスキャンされたデータの前にシンボル識別子を追加します。



有効 AIM ID プリフィックス



** 無効 AIM ID プリフィックス

Code ID プリフィックス

バーコードタイプを識別するために Code ID を使用することもできます。AIM ID とは異なり、Code ID はユーザーがプログラムできます。Code ID は、1 つまたは 2 つの英字でのみ構成できます。



有効 Code ID プリフィックス



** 無効 Code ID プリフィックス

すべてのデフォルト Code ID を復元する

デフォルト Code ID の情報については、付録 3: Code ID テーブルを参照してください。



すべてのデフォルト Code ID 復元



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Code ID を変更する

シンボルの Code ID を変更するには、下の適切な Code ID バーコードと目的の Code ID の 16 進数値を表す数値バーコードをスキャンし、保存バーコードをスキャンします。文字の 16 進値については付録 4: ASCII テーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録 5: パラメータプログラミングの例を参照してください。



0005000

PDF417 Code ID 変更



0005030

Data Matrix Code ID 変更



0005010

QR Code Code ID 変更



0005070

Chinese Sensible Code ID 変更



0004020

Code 128 Code ID 変更



0004030

GS1-128 Code ID 変更



0004210

AIM-128 Code ID 変更



0004040

EAN-8 Code ID 変更



0004050

JAN-13 (EAN-13) Code ID 変更



0004060

UPC-E Code ID 変更



0006000

** Exit Setup



Enter Setup



UPC-A Code ID 変更



ISBN Code ID 変更



ISSN Code ID 変更



Code 39 Code ID 変更



Code 93 Code ID 変更



Interleaved 2 of 5 Code ID 変更



ITF-14 Code ID 変更



ITF-6 Code ID 変更



NW7(Codabar) Code ID 変更



Industrial 25 Code ID 変更



** Exit Setup



0006010

Enter Setup



0004260

Standard 25 Code ID 変更



0004110

Matrix 25 Code ID 変更



0004220

COOP 25 Code ID 変更



0004280

Code 11



0004270

Plessey Code ID 変更



0004290

MSI-Plessey Code ID 変更



0004310

GS1 Databar Code ID 変更



0006000

**** Exit Setup**



Enter Setup

カスタムサフィックス

カスタムサフィックスの有効／無効

カスタムサフィックスが有効な場合は、10 文字以下のサフィックスをデータに追加することができます。



有効 カスタムサフィックス



** 無効 カスタムサフィックス

カスタムサフィックスを設定する

カスタムサフィックスを設定するには、「カスタムサフィックス設定」バーコードとプリフィックスの 16 進数値を表す数値バーコードをスキャンし、保存バーコードをスキャンします。文字の 16 進値については付録 4:ASCII テーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録 5:パラメータプログラミングの例を参照してください。

注:カスタムプリフィックスは 10 文字以下までしか設定できません。



カスタムサフィックス 設定



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

終端文字 サフィックス

終端文字は、データの終わりを示すために使用できます。これは、後に何も追加できないことを意味します。
終端文字接尾辞には 1～7 文字を使用できます。

終端文字のサフィックスの有効／無効

終端文字のサフィックスを有効/無効にするには、以下の該当するバーコードをスキャンします。



** 有効 終端文字 サフィックス



無効 終端文字 サフィックス



0006000
**** Exit Setup**



Enter Setup

終端文字 サフィックスの設定

終端文字サフィックスを CR (0x0D) または CRLF (0x0D、0x0A) に設定できます。下の適切なバーコードをスキャンすることで有効にしてください。



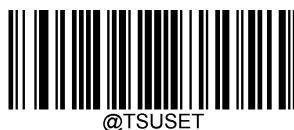
****終端文字 CR (0x0D)**



終端文字 CRLF (0x0D,0x0A)

終端文字を設定するには、「終端文字の設定」バーコードと、終端文字の16進数値を表す数値バーコードをスキャンして、「保存」バーコードをスキャンします。終端文字の16進値については、付録4:ASCII テーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録5:パラメータプログラミングの例を参照してください。

注:終端文字は7文字を超えることはできません。



終端文字 サフィックス 設定



**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

第 8 章 各種バーコード

全般設定

すべてのシンボル 有効／無効

[すべてのシンボルを無効]を設定した場合、バーコードリーダーはプログラミングバーコード以外の非プログラミングバーコードを読み取ることはできません。



0001020

有効 すべてのシンボル



0001010

無効 すべてのシンボル

1D バーコードの有効／無効

[1D バーコード 無効] を設定した場合、バーコードリーダーは 1D バーコードを読み取ることができません。



0001040

有効 すべてのシンボル



0001030

無効 すべてのシンボル

2D バーコード の有効／無効

[2D バーコード 無効] を設定した場合、バーコードリーダーは 2D バーコードを読み取ることができません。



0001060

有効 2D Symbolies



0001050

無効 2D Symbolies



@SETUPN0

Exit Setup

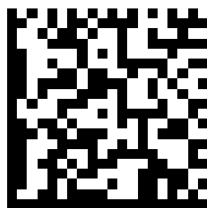


反転機能

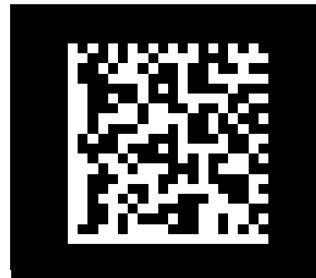
通常バーコード:明るい背景の暗い画像。

反転バーコード:暗い背景に明るい画像。

通常のバーコードと反転バーコードの例を以下に示します。



通常バーコード



反転バーコード

反転機能を使用すると、バーコードリーダーは反転されたバーコードを読み取ることができます。

反転機能 ON:通常のバーコードと反転バーコードの両方を読み取ります。

反転機能 OFF:通常のバーコードのみを読み取ります。

反転機能 ON の場合、バーコードリーダーのスキャン速度はわずかに低下します。



有効 反転機能



** 無効 反転機能





0006010

Enter Setup

1D バーコード

Code 128

Code 128 工場出荷時に戻す



0400000

Code 128 を工場出荷時に戻す

Code 128 の有効／無効



0400020

**有効 Code 128



0400010

無効 Code 128

Code 128 の文字長 設定



0400030

最小桁数の設定



0400040

最大桁数の設定



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

GS1-128 (UCC/EAN-128)

GS1-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す



GS1-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す

GS1-128 の有効／無効



** 有効 GS1-128



無効 GS1-128

GS1-128 の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

AIM-128

AIM-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す



0423000

AIM-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 AIM-128



0423020

** 有効 AIM-128



0423010

無効 AIM-128

AIM-128 の文字長 設定



0423030

最小桁数の設定



0423040

最大桁数の設定



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

EAN-8

EAN-8 を工場出荷時のデフォルトに戻す



EAN-8 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 EAN-8



** 有効 EAN-8



無効 EAN-8

チェックデジットの送信

EAN-8 の長さは 8 桁です。最後の 1 文字がチェックデジットとなりデータの整合性を検証するために使用されます。



** 有効 EAN-8 チェックデジットの送信



無効 EAN-8 チェックデジットの送信



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

EAN-8 バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。下の例では、青い点線で囲まれた部分が EAN-8 のバーコードであり、赤い点線の部分がアドオンコードです。



0401060

有効 2 桁 アドオンコード



0401050

** 無効 2 桁 アドオンコード



0401080

有効 5 桁 アドオンコード



0401070

** 無効 5 桁 アドオンコード

2 桁／5 桁 アドオンコード有効: スキャナは、2 桁／5 桁のアドオンコードの有無にかかわらず、EAN-8 バーコードの組み合わせを読取りします。

2 桁／5 桁 アドオンコード無効: スキャナは EAN-8 を読取りし、EAN-8 とアドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで EAN-8 バーコードを読取りすることもできます。



@SETUPNO

Exit Setup



Enter Setup

アドオンコード必須

EAN-8 アドオンコード必須を選択すると、スキャナーはアドオンコードを含む EAN-8 バーコードのみ読取ります。



有効 EAN-8 アドオンコード必須



**無効 EAN-8 アドオンコード必須

EAN-8 拡張

EAN-8 ゼロ拡張 無効: EAN-8 バーコードをそのまま送信します。

EAN-8 ゼロ拡張 有効: 読取りされた EAN-8 バーコードにゼロを追記して 13 桁に拡張します。



有効 EAN-8 ゼロ拡張



** 無効 EAN-8 ゼロ拡張



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

JAN-13 (EAN-13)

JAN-13 (EAN-13)を工場出荷時のデフォルトに戻す



0402000

JAN-13 (EAN-13)を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 JAN-13 (EAN-13)



0402020

** 有効 JAN-13 (EAN-13)



0402010

無効 JAN-13 (EAN-13)

チェックデジットの送信



0402040

** 有効 JAN-13 (EAN-13) チェックデジットの送信



0402030

無効 JAN-13 (EAN-13) チェックデジットの送信



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0402060

有効 2 桁 アドオンコード



0402050

** 無効 2 桁 アドオンコード



0402080

有効 5 桁 アドオンコード



0402070

** 無効 5 桁 アドオンコード

有効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナは、2 桁 / 5 桁のアドオンコードの有無にかかわらず、JAN-13 (EAN-13) バーコードの組み合わせを読取りします。

無効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナは JAN-13 (EAN-13) を読取りし、JAN-13 (EAN-13) plus アドオンバーコードが提示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで JAN-13 (EAN-13) バーコードを読取りすることもできます。

アドオンコード必須

JAN-13 (EAN-13) アドオンコード必須を選択すると、スキャナはアドオンコードを含む JAN-13 (EAN-13) バーコードのみ読取ります。



0402090

有効 JAN-13 (EAN-13) アドオンコード必須



0402100

** 無効 JAN-13 (EAN-13) アドオンコード 必須



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

JAN-13 (EAN-13) 290 で始まるアドオンコード必須設定

この設定では、「290」で始まる JAN-13 (EAN-13) のバーコードにアドオンコード (2 桁または 5 桁) を要求するようにスキャナを設定します。以下の設定をプログラムすることができます。

有効 アドオンコード必須:「290」で始まるすべての JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードが必要になります。読取り後、アドオンコード付きの JAN-13 (EAN-13) バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合は、JAN-13 (EAN-13) バーコードは破棄されます。

無効 アドオンコード必須:「有効 アドオンコード必須」を設定していて、この機能を無効にしたい場合は、「無効 アドオンコード必須」を選択します。JAN-13 (EAN-13) バーコードが処理され、「有効アドオンコード必須」の選択によって異なります。



0402110

** 無効 アドオンコード必須



0402120

有効 アドオンコード必須

JAN-13 (EAN-13) 378/379 で始まるアドオンコード必須設定

この設定では、「378」または「379」で始まる JAN-13 (EAN-13) のバーコードにアドオンコード (2 桁または 5 桁) を要求するようにスキャナを設定します。以下の設定をプログラムすることができます。

有効 アドオンコード必須:「378」または「379」で始まる JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードが必要になります。読取り後、アドオンコード付きの JAN-13 (EAN-13) バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合は、JAN-13 (EAN-13) バーコードは破棄されます。

無効 アドオンコード必須:「有効 アドオンコード必須」を設定していて、この機能を無効にしたい場合は、「無効 アドオンコード必須」を選択します。JAN-13 (EAN-13) バーコードが処理され、「有効アドオンコード必須」の選択によって異なります。



0402130

** 無効 アドオンコード必須



0402140

有効 アドオンコード必須



@SETUPNO

Exit Setup



Enter Setup

JAN-13 (EAN-13) 414/419 で始まるアドオンコード必須設定

この設定では、「414」または「419」で始まる JAN-13 (EAN-13) のバーコードにアドオンコード (2 桁または 5 桁) を要求するようにスキャナを設定します。以下の設定をプログラムすることができます。

有効 アドオンコード必須:「414」または「419」で始まる JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードが必要になります。読取り後、アドオンコード付きの JAN-13 (EAN-13) バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合は、JAN-13 (EAN-13) バーコードは破棄されます。

無効 アドオンコード必須:「有効 アドオンコード必須」を設定していて、この機能を無効にしたい場合は、「無効 アドオンコード必須」を選択します。JAN-13 (EAN-13) バーコードが処理され、「有効アドオンコード必須」の選択によって異なります。



** 無効 アドオンコード必須



有効 アドオンコード必須

JAN-13 (EAN-13) 434/439 で始まるアドオンコード必須設定

この設定では、「434」または「439」で始まる JAN-13 (EAN-13) のバーコードにアドオンコード (2 桁または 5 桁) を要求するようにスキャナを設定します。以下の設定をプログラムすることができます。

有効 アドオンコード必須:「434」または「439」で始まる JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードが必要になります。読取り後、アドオンコード付きの JAN-13 (EAN-13) バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合は、JAN-13 (EAN-13) バーコードは破棄されます。

無効 アドオンコード必須:「有効 アドオンコード必須」を設定していて、この機能を無効にしたい場合は、「無効 アドオンコード必須」を選択します。JAN-13 (EAN-13) バーコードが処理され、「有効アドオンコード必須」の選択によって異なります。



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

** 無効 アドオンコード必須

有効 アドオンコード必須



@SETUPN0

Exit Setup



JAN-13(EAN-13) 977 で始まるアドオンコード必須設定

この設定では、「977」で始まる JAN-13 (EAN-13) のバーコードにアドオンコード (2 桁または 5 桁) を要求するようにスキャナを設定します。以下の設定をプログラムすることができます。

有効 アドオンコード必須:「977」で始まる JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードが必要になります。読取り後、アドオンコード付きの JAN-13 (EAN-13) バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合は、JAN-13 (EAN-13) バーコードは破棄されます。

無効 アドオンコード必須:「有効 アドオンコード必須」を設定していて、この機能が無効にしたい場合は、「無効 アドオンコード必須」を選択します。JAN-13 (EAN-13) バーコードが処理され、「有効アドオンコード必須」の選択によって異なります。



** 無効 アドオンコード必須



有効 アドオンコード必須

JAN-13(EAN-13) 978 で始まるアドオンコード必須設定

この設定では、「978」で始まる JAN-13 (EAN-13) のバーコードにアドオンコード (2 桁または 5 桁) を要求するようにスキャナを設定します。以下の設定をプログラムすることができます。

有効 アドオンコード必須:「978」で始まる JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードが必要になります。読取り後、アドオンコード付きの JAN-13 (EAN-13) バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合は、JAN-13 (EAN-13) バーコードは破棄されます。

無効 アドオンコード必須:「有効 アドオンコード必須」を設定していて、この機能が無効にしたい場合は、「無効 アドオンコード必須」を選択します。JAN-13 (EAN-13) バーコードが処理され、「有効アドオンコード必須」の選択によって異なります。



** 無効 アドオンコード必須



有効 アドオンコード必須





0006010

Enter Setup

JAN-13 (EAN-13) 979 で始まるアドオンコード必須設定

この設定では、「979」で始まる JAN-13 (EAN-13) のバーコードにアドオンコード (2 桁または 5 桁) を要求するようにスキャナを設定します。以下の設定をプログラムすることができます。

有効 アドオンコード必須:「979」で始まる JAN-13 (EAN-13) バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードが必要になります。読取り後、アドオンコード付きの JAN-13 (EAN-13) バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合は、JAN-13 (EAN-13) バーコードは破棄されます。

無効 アドオンコード必須:「有効 アドオンコード必須」を設定していて、この機能を無効にしたい場合は、「無効 アドオンコード必須」を選択します。JAN-13 (EAN-13) バーコードが処理され、「有効アドオンコード必須」の選択によって異なります。



0402230

** 無効 アドオンコード必須



0402240

有効 アドオンコード必須



@SETUPNO

Exit Setup



0006010

Enter Setup

ISSN

ISSN を工場出荷時のデフォルトに戻す



0421000

ISSN を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 ISSN



0421020

有効 ISSN



0421010

** 無効 ISSN



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

アドオンコード

ISSN バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0421030

有効 2 桁 アドオンコード



0421040

** 無効 2 桁 アドオンコード



0421050

有効 5 桁 アドオンコード



0421060

** 無効 5 桁 アドオンコード

有効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナは、2 桁 / 5 桁のアドオンコードの有無にかかわらず ISSN バーコードの組み合わせを読み取りします。

無効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナは ISSN を読み取りし、ISSN + アドオンバーコードが提示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで ISSN バーコードを読み取りすることもできます。

アドオンコード必須

ISSN アドオンコード必須が選択されている場合、スキャナはアドオンコードを含む ISSN バーコードのみを読み取ります。



0421070

有効 ISSN アドオンコード必須



0421080

** 無効 ISSN アドオンコード必須



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

ISBN

ISBN を工場出荷時のデフォルトに戻す



ISBN を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 ISBN



** 有効 ISBN



無効 ISBN

ISBN フォーマットを設定する



** ISBN-13



ISBN-10



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

ISBN バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0416050

有効 2桁 アドオンコード



0416060

** 無効 2桁 アドオンコード



0416070

有効 5桁 アドオンコード



0416080

** 無効 5桁 アドオンコード

有効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは、2桁/5桁のアドオンコードの有無にかかわらず ISBN バーコードの組み合わせを読み取りします。

無効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは ISBN を読み取りし、ISBN+アドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで ISBN バーコードを読み取りすることもできます

アドオンコード必須

ISBN アドオンコード必須が選択されている場合、スキャナはアドオンコードを含む ISBN バーコードのみを読み取ります。



0416090

有効 ISBN アドオンコード必須



0416100

** 無効 ISBN アドオンコード必須



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

UPC-E

UPC-E を工場出荷時のデフォルトに戻す



0403000

UPC-E を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 UPC-E



0403020

** 有効 UPC-E



0403010

無効 UPC-E

チェックデジットの送信



0403040

** 有効 UPC-E チェックデジットの送信



0403030

無効 UPC-E チェックデジットの送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

UPC-E バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0403060

有効 2桁 アドオンコード



0403050

** 無効 2桁 アドオンコード



0403080

有効 5桁 アドオンコード



0403070

** 無効 5桁 アドオンコード

有効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは、2桁/5桁のアドオンコードの有無にかかわらず、UPC-E バーコードの組み合わせを読取りします。

無効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは UPC-E を読取りし、UPC-E+アドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで UPC-E バーコードを読取りすることもできます。

アドオンコード必須

UPC-E アドオンコード必須を選択すると、スキャナはアドオンコードを含む UPC-E バーコードのみ読取ります。



0403130

有効 UPC-E アドオンコード必須



0403140

** 無効 UPC-E アドオンコード必須



@SETUPN0

Exit Setup



システムキャラクター “0”の送信

UPC-E バーコードの 1 桁目はシステムキャラクター “0”にします。



** 有効 システムキャラクター “0”の送信



無効 システムキャラクター “0”の送信

UPC-E 拡張

無効 **UPC-E Extend:** UPC-E バーコードをそのまま送信します。

有効 **UPC-E Extend:** UPC-E バーコードを拡張して、UPC-A との長さで送信します。



有効 **UPC-E Extend**



** 無効 **UPC-E Extend**





0006010

Enter Setup

UPC-A

UPC-A を工場出荷時のデフォルトに戻す



0404000

UPC-A を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 UPC-A



0404020

** 有効 UPC-A



0404010

無効 UPC-A

チェックデジットの送信



0404040

** 有効 UPC-A チェックデジットの送信



0404030

無効 UPC-A チェックデジットの送信



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

アドオンコード

UPC-A バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



有効 2桁 アドオンコード



** 無効 2桁 アドオンコード



有効 5桁 アドオンコード



** 無効 5桁 アドオンコード

有効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは、2桁/5桁のアドオンコードの有無にかかわらず、UPC-A バーコードの組み合わせを読み取ります。

無効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは UPC-A を読み取りし、UPC-A+アドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードのない UPC-A バーコードを読み取りすることもできます。

アドオンコード必須

UPC-A アドオンコード必須を選択すると、スキャナは UPC-A バーコードのみを読み取ります。



有効 UPC-A アドオンコード必須



** 無効 UPC-A アドオンコード必須



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

プリアンブルキャラクターの送信

プリアンブルキャラクター(カントリーコードとシステムキャラクター)は、UPC-A バーコードの一部として送信することができます。UPC-A プリアンブルをホストデバイスに送信するには、システムキャラクターのみを送信するか、システムキャラクターおよび国コード(米国の場合は「0」)を送信するために、次のいずれかのオプションを選択します。



0404100

カントリーコードとシステムキャラクター



0404090

** システムキャラクター

注:シリアルナンバーで下記以降の物は工場初期状態がシステムキャラクターと国コードになっております。

N2W00881～

N2B00720～



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

Interleaved 2 of 5

Interleaved 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す



0405000

Interleaved 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Interleaved 2 of 5



0405020

** 有効 Interleaved 2 of 5



0405010

無効 Interleaved 2 of 5

Interleaved 2 of 5 の文字長 設定



0405030

最小桁数の設定



0405040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する

チェックデジットは、Interleaved 2 of 5 ではオプションで、最後の桁として追加することができます。これは、データの整合性を検証するために使用される計算値です。

無効: Interleaved 2 of 5 バーコードをそのまま送信します。

検証後チェックデジットを送信しない: スキャナは、Interleaved 2 of 5 バーコードの整合性をチェックして、データのチェックデジットが正しいかチェックします。チェックに失敗したデータは送信されません。チェックで合致したバーコードは、最後の桁を除いて送信されます。

検証後チェックデジットの送信: スキャナは、Interleaved 2 of 5 バーコードの整合性をチェックして、データのチェックデジットが正しいかチェックします。チェックに失敗したデータは送信されません。チェックで合致したバーコードは、そのまま送信されます。



0405050

無効



0405060

検証後チェックデジットを送信しない



0405070

** 検証後チェックデジットの送信

注: ※シリアルナンバーで下記以降の物は工場初期状態が無効になっております。

N2W00881～

N2B00720～



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

Febraban

無効/有効 Febraban



0405280

** 無効 Febraban



0405290

有効 Febraban, 拡張 無し



0405300

有効 Febraban, 拡張 有り

送信遅延

この機能は、USB HID-KBW が有効な場合にのみ使用できます。1桁あたりの送信遅延は、拡張コードと拡張コードを含まない場合の両方に適用されます。12桁あたりの送信遅延は拡張コードを含むされた Febraban のみに適用されます。



0700160

** 無効 1 桁あたりの送信遅延



0700161

有効 1 桁あたりの送信遅延



0700170

** 無効 12 桁あたりの送信遅延



0700171

有効 12 桁あたりの送信遅延



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

1桁あたりの カスタム 送信遅延:この設定は、0msから75msまで5ms刻みでプログラム可能です。この設定をするには、「1桁あたりの カスタム 送信遅延」バーコードをスキャンし、希望の値の数値バーコードと保存バーコードをスキャンします。詳細は、付録5を参照してください。デフォルト値は70msです。

12桁あたりの カスタム 送信遅延:このパラメータを設定するには、「12桁あたりの カスタム 送信遅延」バーコードと数値バーコードをスキャンします。(それぞれ0ms、300ms、400ms、500ms、600ms、700ms、800msおよび900msを表す0~7)詳細は、付録5を参照してください。デフォルト値は700msです。



0700162

1桁あたりの カスタム 送信遅延



0700172

12桁あたりの カスタム 送信遅延



@SETUPNO

Exit Setup



Enter Setup

ITF-14

ITF-14 は特別な種類の「Interleaved 2 of 5」で、14 桁の文字と最後の文字はチェックデジットです。



ITF-14 を工場出荷時のデフォルトに戻す



無効 ITF-14



** 有効 ITF-14 無効 チェックデジットの送信



有効 ITF-14 有効 チェックデジットの送信

注:ITF-14 と Interleaved 2 of 5 を同時に有効にしないことをお勧めします。



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ITF-6

ITF-6 は特別な種類の「Interleaved 2 of 5」で、6 桁の文字と最後の文字はチェックデジットです。



0405270

ITF-6 を工場出荷時のデフォルトに戻す



0405110

** 無効 ITF-6



0405120

有効 ITF-6 無効 チェックデジットの送信



0405130

有効 ITF-6 有効 チェックデジットの送信

注:ITF-6 と Interleaved 2 of 5 を同時に有効にしないことをお勧めします。



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す



Matrix 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Matrix 2 of 5



有効 Matrix 2 of 5



** 無効 Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する



0406050

無効



0406060

** 検証後チェックデジットを送信しない



0406070

検証後チェックデジットの送信



@SETUPN0

Exit Setup



Industrial 2 of 5

Industrial 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す



Industrial 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Industrial 2 of 5



** 有効 Industrial 2 of 5



無効 Industrial 2 of 5

Industrial 2 of 5 の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定





0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する



0417050

** 無効



0417070

検証後チェックデジットの送信



0417060

検証後チェックデジットを送信しない



@SETUPN0

Exit Setup



Standard 2 of 5 (IATA 2 of 5)

Standard 2 of 5 (IATA 2 of 5) を工場出荷時のデフォルトに戻す



Standard 25 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Standard 25



** 有効 Standard 25



無効 Standard 25

Standard 25 の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定





0006010
Enter Setup

チェックデジットを確認する



0418050

** 無効



0418070

検証後チェックデジットの送信



0418060

検証後チェックデジットを送信しない



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

Code 39

Code 39 を工場出荷時のデフォルトに戻す



Code 39 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Code 39



** 有効 Code 39



無効 Code 39

有効/無効 スタート/ストップ キャラクター送信



有効 スタート/ストップ キャラクター送信



** 無効 スタート/ストップ キャラクター送信



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Code 39 の文字長 設定



0408030

最小桁数の設定



0408040

最大桁数の設定

チェックデジットを確認する



0408050

** 無効



0408070

検証後チェックデジットの送信



0408060

検証後チェックデジットを送信しない

有効/無効 Code 39 Full ASCII

以下の設定により、すべての ASCII コードを識別するようにスキャナを設定することができます。



0408110

** 有効 Code 39 Full ASCII



0408100

無効 Code 39 Full ASCII



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

有効/無効 Code 32

Code 32 は、イタリアの製薬業界で使用されている Code 39 の亜種です。以下の適切なバーコードをスキャンして有効または無効にしてください。この設定を有効にするには、Code39 が有効で、Code39 のチェックデジットの確認設定が無効でなければなりません。



** 無効 Code 32



有効 Code 32

Code 32 プリフィックス

以下の該当するバーコードをスキャンして、有効または無効にして、プリフィックスキャラクター「A」をすべての Code 32 バーコードに追加します。このパラメーターが機能するには、Code 32 が有効でなければなりません。



** 無効 Code 32 プリフィックス



有効 Code 32 プリフィックス



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Code 32 チェックデジットの送信

この設定をするには、Code 32 が有効でなければなりません。



0408180

** 無効 Code 32 チェックデジットの送信



0408190

有効 Code 32 チェックデジットの送信

Code 32 スタート/ストップ キャラクター送信

この設定をするには、Code 32 が有効でなければなりません。



0408160

** 無効 Code 32 スタート/ストップキャラクター送信



0408170

有効 Code 32 スタート/ストップキャラクター送信



@SETUPN0

Exit Setup



NW7 (Codabar)

NW7 (Codabar)を工場出荷時のデフォルトに戻す



NW7 (Codabar)を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 NW7 (Codabar)



** 有効 NW7 (Codabar)



無効 NW7 (Codabar)

NW7 (Codabar)の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定





0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する



0409050

** 無効



0409070

検証後チェックデジットの送信



0409060

検証後チェックデジットを送信しない

有効 スタート/ストップ キャラクター送信



0409090

有効 スタート/ストップ キャラクター送信



0409080

** 無効 スタート/ストップ キャラクター送信



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

スタート/ストップ キャラクター フォーマット

以下の適切なバーコードをスキャンすることにより、スタート/ストップ キャラクターの設定をすることができます。



0409100

**** ABCD/ABCD (大文字) スタート/ストップ キャラクター**



0409110

ABCD/TN*E (大文字) スタート/ストップ キャラクター



0409120

**** スタート/ストップ キャラクター (大文字)**



0409130

スタート/ストップ キャラクター (小文字)



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

Code 93

Code 93 を工場出荷時のデフォルトに戻す



0410000

Code 93 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Code 93



0410020

** 有効 Code 93



0410010

無効 Code 93

Code 93 の文字長 設定



0410030

最小桁数の設定



0410040

最大桁数の設定



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

チェックデジットを確認する



無効



** 検証後チェックデジットを送信しない



検証後チェックデジットの送信



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

GS1-Databar (RSS)

GS1-Databar (RSS)を工場出荷時のデフォルトに戻す



0413000

GS1-Databar を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 GS1 Databar



0413020

** 有効 GS1-DataBar



0413010

無効 GS1-DataBar

アプリケーション識別子 "01"送信



0413060

** 有効 アプリケーション識別子 "01"送信



0413050

無効 アプリケーション識別子 "01"送信

GS1 AI 識別子 () 付加出力



@GS1AIP0

** 無効 GS1 AI 括弧



@GS1AIP1

有効 GS1 AI 括弧

注:シリアルナンバーで下記以降の物は GS1 AI 識別 () に対応しております。

N2W00881～

N2B00720～



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

Code 11

Code 11 を工場出荷時のデフォルトに戻す



Code 11 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Code 11



** 有効 Code 11



無効 Code 11

Code 11 の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定



** Exit Setup



Enter Setup

チェックデジットの送信



有効 チェックデジットの送信



** 無効 チェックデジットの送信

チェックデジットを確認する



無効



** 1桁 チェックデジット, MOD11



2桁 チェックデジット, MOD11/MOD11



2桁 チェックデジット, MOD11/MOD9



1桁 チェックデジット, MOD11 (Len<=10)
2桁 チェックデジット, MOD11/MOD11 (Len>10)



1桁 チェックデジット, MOD11 (Len<=10)
2桁 チェックデジット, MOD11/MOD9 (Len>10)



Exit Setup



Enter Setup

Plessey

Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す



Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Plessey



** 有効 Plessey



無効 Plessey

Plessey の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

チェックデジットを確認する



0419050
無効



0419060
** 検証後チェックデジットを送信しない



0419070
検証後チェックデジットの送信



@SETUPNO
Exit Setup



Enter Setup

MSI-Plessey

MSI-Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す



MSI-Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 MSI-Plessey



** 有効 MSI-Plessey



無効 MSI-Plessey

MSI-Plessey の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットの送信



0420100

有効 チェックデジットの送信



0420090

** 無効 チェックデジットの送信

チェックデジットを確認する



0420050

無効



0420060

** 1桁 チェックデジット, MOD10



0420070

2桁 チェックデジット, MOD10/MOD10



0420080

2桁 チェックデジット, MOD10/MOD11



@SETUPNO

Exit Setup



Enter Setup

2D Symbolologies

PDF 417

PDF 417 を工場出荷時のデフォルトに戻す



PDF 417 を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 PDF 417



** 有効 PDF 417



無効 PDF 417

PDF 417 の文字長 設定



最小桁数の設定



最大桁数の設定



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

PDF417 ツインコード

PDF417 ツインコードは、縦または横に平行に並んだ 2 つの PDF417 バーコードです。

PDF417 ツインコードは、PDF417 を密接に配置しなければなりません。

密接に配置しなければなりません。

PDF417 ツインコードを読むための 3 つのオプションがあります：

PDF417 単一のみ:PDF417 コードを読みます。

PDF417 ツインコードのみ:PDF417 コードをツインコード読みます。

シングル&ツイン:両方の PDF417 コードを読みます。



** PDF417 シングルコードのみ



PDF417 ツインコードのみ



シングル&ツイン

文字のエンコード



** エンコード初期値



UTF-8



@SETUPNO
Exit Setup



Enter Setup

有効/無効 PDF417 ECI 出力



無効 PDF417 ECI 出力



** 有効 PDF417 ECI 出力



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

QR Code

QR Code を工場出荷時のデフォルトに戻す



0502000
QR Code を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 QR Code



0502020
** 有効 QR Code



0502010
無効 QR Code

QR Code の文字長 設定



0502030
最小桁数の設定



0502040
最大桁数の設定

Micro QR



0502110
** 有効 Micro QR



0502100
無効 Micro QR



@SETUPN0
Exit Setup



Enter Setup

QR ツインコード

QR ツインコードは、縦または横に平行に並んだ 2 つの QR バーコードです。

QR ツインコードは、QR コードを密接に配置しなければなりません。

QR ツインコードを読むための 3 つのオプションがあります。

QR 単一のみ: QR コードを読みます。

QR ツインコードのみ: QR コードをツインコード読みます。

シングル&ツイン: 両方の QR コードを読みます。

QR ツインコードの読取りがうまくいかない場合は、QR 単一のみ設定を試してみてください。



****シングル QR のみ**



ツイン QR のみ



シングル&ツイン

文字のエンコード



**** エンコード初期値**



UTF-8



**** Exit Setup**



0006010
Enter Setup

有効/無効 QRECI 出力



0502151
無効 QRECI 出力



0502150
** 有効 QRECI 出力



@SETUPNO
Exit Setup



Enter Setup

長方形タイプ 設定



** 有効 長方形タイプ 設定



無効 長方形タイプ 設定

ミラーイメージ



** 有効 ミラーイメージ 読取り



無効 ミラーイメージ 読取り



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

Data Matrix ツインコード

Data Matrix ツインコードは、縦または横に平行に並んだ 2 つの Data Matrix バーコードです。

Data Matrix ツインコードは、Data Matrix コードを密接に配置しなければなりません。

Data Matrix ツインコードを読むための 3 つのオプションがあります。

Data Matrix 単一のみ: Data Matrix コードを読みます。

Data Matrix ツインコードのみ: Data Matrix コードをツインコード読みます。

送信順序: 左側 (上の位置) に続いて右側 (下の位置) にある Data Matrix コード。

シングル&ツイン: 両方の Data Matrix コードを読みます。

Data Matrix ツインコードの読取りがうまくいかない場合は、Data Matrix 単一のみ設定を試してみてください。



** Data Matrix 単一のみ



Data Matrix ツインコードのみ



シングル&ツイン

文字のエンコード



** エンコード初期値



UTF-8



@SETUPNO
Exit Setup



Enter Setup

有効/無効 Data Matrix ECI 出力



無効 Data Matrix ECI 出力



** 有効 Data Matrix ECI 出力



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

Chinese Sensible Code

Chinese Sensible Code を工場出荷時のデフォルトに戻す



0508000
Chinese Sensible Code を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効/無効 Chinese Sensible Code



0508020
有効 Chinese Sensible Code



0508010
** 無効 Chinese Sensible Code

Chinese Sensible Code の文字長 設定



0508030
最小桁数の設定



0508040
最大桁数の設定



@SETUPNO
Exit Setup



Enter Setup

有効/無効 Chinese Sensible Code ECI 出力



無効 Chinese Sensible Code ECI 出力



** 有効 Chinese Sensible Code ECI 出力



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

第9章 イメージコントロール

画像の反転

次のページの適切なバーコードをスキャンすることで、スキャン画像を反転させることができます。次の図は元のイメージと3つの反転イメージを示しています。



反転しない



水平方向に反転



垂直方向に反転



水平方向と垂直方向に反転



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

反転設定



0202000

** 反転しない



0202030

垂直方向に反転



0202031

水平方向に反転



0202032

水平方向と垂直方向に反転

垂直方向に反転



0202033

有効 垂直方向に反転



0202034

無効 垂直方向に反転

水平方向に反転



0202035

有効 水平方向に反転



0202036

無効 水平方向に反転



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

第 10 章 データフォーマット

イントロダクション

データフォーマットを使用してスキヤナの出力を変更することができます。たとえば、データフォーマットを使用して、バーコードデータの特定のポイントに文字を挿入したり、バーコードデータがスキャンされているときにその文字を抑制/置換/送信することができます。通常は、バーコードをスキャンすると自動的に出力されます。しかし、フォーマットを作成するときは、データを出力するために、フォーマットプログラミング内で "send" コマンド (この章の「コマンドの送信」を参照) を使用する必要があります。

データフォーマットのフォーマットコマンドの最大サイズは 112 文字です。

初期値では、データフォーマットは無効です。必要なときに有効にしてください。工場出荷時に戻したい場合は、以下のデータフォーマット初期値バーコードをスキャンしてください。



0323100

** データフォーマット初期値

データフォーマットを追加する。

データフォーマットはバーコードデータの編集にのみ使用されます。Format_0、Format_1、Format_2、Format_3 の 4 つまでのデータフォーマットをプログラムできます。

データフォーマットを作成するときは、データフォーマットのアプリケーションスコープ (バーコードタイプやデータ長など) を指定し、フォーマットコマンドを含める必要があります。スキャンしたデータがデータフォーマット要件と一致しない場合、不一致エラービープ音が鳴ります (不一致エラービープ音がオンの場合)。

データフォーマットをプログラミングするには、バーコードによるプログラミングとバッチコマンドによるプログラミングの 2 つの方法があります。



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

バーコードによるプログラミング

特定のバーコードをスキャンしてデータフォーマットをプログラミングする方法について説明します。適切な設定手順に従わないとプログラミングは失敗します。データフォーマットを作成するために付録 6 の「数値バーコード」を参照してください。

ステップ 1:「Enter Setup」バーコードをスキャンします。

ステップ 2:「Add Data Format」コードをスキャンし、データフォーマットを追加します。



Add Data Format

ステップ 3:データフォーマットを選択します。数値バーコード 0、1、2、3 をスキャンし、Format_0、Format_1、Format_2、Format_3 に設定します。

ステップ 4:フォーマッタのコマンドタイプを選択します。

どのタイプのフォーマッタ・コマンドを使用するかを指定します。数値バーコード 6 をスキャンして、フォーマッタのコマンドタイプ 6 を選択します。（詳細は、この章の「フォーマッタ・コマンド・タイプ 6」を参照してください）。

ステップ 5:インターフェイスタイプを設定します。任意のインターフェイスタイプについて 999 をスキャンします。

ステップ 6:各種バーコード ID ナンバーを設定する。付録の「各種バーコード ID ナンバー」の項を参照して、データフォーマットを適用するバーコードの種類を探してください。各種バーコード ID ナンバーの 3 桁の数値バーコードをスキャンします。すべての各種バーコードのデータフォーマットを作成する場合は、999 とスキャンします。

ステップ 7:バーコードデータの長さを設定するこのシンボルに許容されるデータの長さを指定します。データの長さを表す 4 桁の数字のバーコードをスキャンします。例えば、32 文字の場合、0032 とスキャンをします。9999 と設定した場合、すべての長さを意味します。

ステップ 8:フォーマッタコマンドを入力します。この章の「データフォーマッタコマンド」を参照してください。データの編集に必要なコマンドを表す英数字のバーコードをスキャンします。たとえば、コマンドが F141 の場合は、「F」、「1」、「4」、「1」をスキャンする必要があります。コマンドは 112 文字まで使用できます。

ステップ 9:データフォーマットを保存するには、付録の「バーコードの保存/取り消し」から保存バーコードをスキャンします。



** Exit Setup



Enter Setup

例:フォーマットコマンドタイプ 6 を使用するプログラム format_0、適用可能な 10 文字を含むコード 128、すべての文字の後に "A"を送信する。

- 1.「Enter Setup」バーコードをスキャンします
- 2.データフォーマットの「Add Data Format」をスキャンします
- 3.「0」の数値バーコードをスキャンします
- 4.「6」の数値バーコードをスキャンする
- 5.「9」の数値バーコードを 3 回スキャンする
- 6.「0」「0」「2」の数値バーコードをスキャンする
- 7.「0」「0」「1」「0」の数値バーコードをスキャンする
- 8.「F」「1」「4」「1」の数値バーコードをスキャンする
- 9.「保存」バーコードをスキャンする

セットアップモードに入ります。
データフォーマットを追加する。
フォーマット_0 を選択。
フォーマットコマンドタイプ 6 を選択する 6。
すべてのインターフェイスタイプ。
コード 128 のみ適用。
10 文字の長さのみ適用
すべての文字を続けて "A" (HEX:41)
データフォーマットを保存する



Exit Setup



Enter Setup

バッチコマンドによるプログラミング

データフォーマットは、ホストデバイスから送信されるバッチコマンドによって作成することもできます。

構文: “nls0323000” + “=” + ダブルコーテーション (") + パラメータ値 + ダブルコーテーション (") + “;”
パラメータは、次の要素で構成されます。

データフォーマット: 0~3 (1桁) 0,1,2,3 はそれぞれ Format_0、Format_1、Format_2、Format_3 を表す。

フォーマッタタイプ: 6 (1桁)。

インターフェイスタイプ: 999 (3桁)。

シンボル ID 番号: 各種バーコードを表す ID 番号 (3文字)。999 はすべてのバーコード種を示します。

データ桁数: このシンボルのデータのデータ桁数 (4文字)。9999 はすべての長さを示します。たとえば、32 桁を入力する場合 0032 として入力必要があります。

フォーマッタコマンド: データの編集に使用するコマンド文字列 (最大 112 文字)。詳細については、「フォーマッタコマンドタイプ 6」を参照してください。

注: データフォーマットの作成に使用するバッチコマンドは、上記の構文に準拠している必要があります。戻り値 0x06 は成功を示します。戻り値 0x15 は失敗を示します。

プログラミングプロセスを合理化するため、バッチコマンドを入力してバッチバーコードを生成することもできます (e.g. 0323000=“069990020010F141”;) データフォーマットの作成に使用されます。バッチバーコードを使用する方法については、第 11 章の「バッチバーコードの使用」を参照してください。

例 1: フォーマッタコマンドタイプ 6 を使用するプログラム format_0、適用可能な 10 文字を含むコード 128、すべての文字の後に "A" を送信します。

バッチコマンド: nls0323000=“069990020010F141”;

例 2: フォーマッタコマンドタイプ 6、すべてのシンボル、適用可能なすべての長さを使用してプログラム format_0 をプログラムする。バーコードの最初の 5 文字を送信し、1 を待ち、次の 6 文字を送信し、1 を待ってから、残りのバーコードデータを送信する。

バッチコマンド: nls0323000=“069999999999F20500EF0200F20600EF0200E900”;



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

有効 データフォーマット

データフォーマットを有効にしたら、下の適切なバーコードをスキャンして使用するデータフォーマットを選択することができます。



0323030

**** Format_0**



0323031

Format_1



0323032

Format_2



0323033

Format_3

シングルスキャンのデータフォーマットの変更

1 回のスキャンでデータフォーマットを切り替えることができます。次のバーコードは、選択されたデータフォーマットを適用してスキャンされ、上記で選択したフォーマットに戻ります。

例えば、スキャナは、Format_3 のデータフォーマットとして設定してあったとして、下のシングルスキャン- Format_1 バーコードをスキャンすることで、一回だけトリガーを引いたタイミングで Format_1 に切り替えすることができます。シングルスキャン- Format_1 した次のバーコードは Format_1 を適用し、Format_3 に戻ります。

注: この設定は、スキャナの電源を切ったり、デバイスの電源を切ったり再起動したりすることで失われます。



0323050

シングルスキャン- Format_0



0323051

シングルスキャン- Format_1



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup



0323052

シングルスキャン- Format_2



0323053

シングルスキャン- Format_3

有効/無効 データフォーマット

データフォーマットが無効な場合、有効なデータフォーマットは無効になります。



@DFMDEF

**** 無効 データフォーマット**

データフォーマットは、次の設定を適用できます。

有効 データフォーマット 必須、プリフィックス/サフィックス送信する: データフォーマットの要件を満たすスキャンデータは、それに応じて変更され、プリフィックスとサフィックス(プリフィックスとサフィックスが有効な場合)とともに出力されます。データフォーマットの要件に一致しないデータは、エラービープ音(不一致エラービープ音がオンになっている場合)を発し、そのバーコードのデータは送信されません。

有効 データフォーマット 必須、プリフィックス/サフィックス送信しない: データフォーマット要件を満たすスキャンデータは、それに応じて変更され、プリフィックスとサフィックスなしで出力されます。(プリフィックスとサフィックスは本設定のプリフィックスとサフィックスなしが優先されます。) データフォーマットの要件に一致しないデータは、エラービープ音(不一致エラービープ音が有効になっている場合)を発し、そのバーコードのデータは送信されません。

有効 データフォーマット 不要、プリフィックス/サフィックス送信する: データフォーマットの要件を満たすスキャンデータは、それに応じて変更され、プリフィックスとサフィックス(プリフィックスとサフィックスが有効な場合)とともに出力されます。データフォーマット要件に合致しないバーコードデータは、プリフィックスとサフィックス(プリフィックスとサフィックスが有効な場合)とともに、読み取って送信されます。

有効 データフォーマット 不要、プリフィックス/サフィックス送信しない: データフォーマット要件を満たすスキャンデータは、それに応じて変更され、プリフィックスとサフィックスなしで出力されます。(プリフィックスとサフィックスは本設定のプリフィックスとサフィックスなしが優先されます。)

データフォーマット要件に合致しないバーコードデータは、プリフィックスとサフィックス(プリフィックスとサフィックスが有効な場合)とともに、読み取って送信されます。



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup



0323040

有効 データフォーマット 必須、
プリフィックス/サフィックス送信する



0323041

有効 データフォーマット 必須、
プリフィックス/サフィックス送信しない



0323042

有効 データフォーマット 不要、
プリフィックス/サフィックス送信する



0323043

有効 データフォーマット 不要、
プリフィックス/サフィックス送信しない

不一致エラービープ音

不一致エラービープ音が有効になっていると、必要なデータフォーマットと一致しないバーコードが検出された場合、スキャナはエラービープ音を鳴らします。



0323060

** 有効 不一致エラービープ音



0323061

無効 不一致エラービープ音

データフォーマットの消去

スキャナからデータフォーマットを削除する方法は2つあります。

1つのデータフォーマット削除:1つのデータフォーマット削除バーコード、数値バーコード(0~3)、および保存バーコードをスキャンします。

例:Format_2を削除するには、1つのデータフォーマット削除バーコード、「2」の数値バーコード、および保存バーコードをスキャンする必要があります。

すべてのデータフォーマット削除:すべてのデータフォーマット削除バーコードをスキャンします。



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup



0323011

すべてのデータフォーマット削除



0323010

1つのデータフォーマット削除

データフォーマット情報の確認

次のバーコードをスキャンして、作成したデータフォーマットの設定情報を取得できます。

たとえば、この章の「バーコードによるプログラミング」の例のように **Format_0** を追加した場合、データフォーマット情報の確認結果は **Data Format 0:069990020010F141;.** になります。



0323070

データフォーマット情報の確認



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

フォーマットコマンド タイプ 6

データフォーマットで作業するとき、仮想カーソルは入力データ文字列に沿って移動します。次のコマンドは、このカーソルを異なる位置に移動するために使用されますが、最終出力にデータを選択、置換、挿入することができます。コマンドに含まれる ASCII 文字の 16 進値については付録の「ASCII テーブル」を参照してください。

コマンドの送信

F1 すべての文字を送信

構文= F1xx (xx: 挿入文字の 16 進値)

現在のカーソル位置から始まり、その後に挿入文字が続く、入力メッセージのすべての文字を出力メッセージに含めます。

F2 複数の文字を送信する

構文= F2nnxx (nn: 文字数の数値 (00-99); xx: 挿入文字の 16 進値)

出力メッセージに、挿入文字の後ろにいくつかの文字を含めます。現在のカーソル位置から開始して、"nn"文字または入力メッセージの最後の文字から続けて、文字 "xx"を続けます。

F2 例: 複数の文字を送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

上記のバーコードから最初の 10 文字を送信してから、CR を送信します。

コマンド文字列: **F2100D**

F2 は「複数の文字を送信する」コマンドです

10 は送信する文字数です

0D は CR の 16 進値です

データは次のように出力されます: **1234567890<CR>**



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

F3 すべての文字を特定の文字に送信する

構文= F3ssxx (ss: 特定の文字の 16 進値; xx: 挿入文字の 16 進値)

現在のカーソル位置にある文字から始まり、特定の文字「ss」に続けて文字「xx」を続けて「すべての文字を出力します。カーソルは前方に移動し"ss"文字を変換します。

F3 例:すべての文字から特定の文字まで送信します。



1234567890ABCDEFGHIJ

上記のバーコードを使用し、すべての文字を「D」までを含めて送信します。その後に CR を続けて出力します。

コマンド文字列:**F3440D**

F3 は「特定の文字まですべての文字を送信する」コマンドです

44 は "D"

0D は CR の 16 進値です

データは次のように出力されます:**1234567890ABC<CR>**

E9 最後の文字以外はすべて送信

構文= E9nn (nn: メッセージの最後に送信されない文字数の数値 (00-99))

最後の "nn"文字以外のすべてを出力メッセージに含めます。現在のカーソル位置から開始します。カーソルは、最後に入力されたメッセージ文字を含む 1 つの位置に前方に移動します。

F4 文字を複数回挿入する

構文= F4xxnn (xx: 挿入文字の 16 進値、nn: 送信する必要がある回数の数値 (00-99))

出力メッセージに「xx」文字「nn」回を送信し、現在の位置にカーソルを置きます。

E9 と F4 例:最後の文字を除くすべてを送信し、その後に 2 つの<Tab>を続けます。



1234567890ABCDEFGHIJ

上のバーコードから最後の 8 文字を除くすべての文字を送信し、その後に 2 つのタブを続けます。

コマンド文字列:**E908F40902**

E9 は「最後の文字をすべて送信する」コマンドです

08 は無視する最後の文字数です



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

F4 は「複数の文字を挿入する」コマンドです
09 は Tab の 16 進値です
02 は、タブ文字が送信された回数です
データは次のように出力されます: 1234567890AB <tab> <tab>

B3 バーコードの種類を挿入する

カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードの種類名を挿入します。

B4 バーコード文字長の挿入

カーソルを移動せずに、出力メッセージにバーコードの長さを挿入します。文字数は数値として表され、先頭のゼロは含まれません。

B3 と B4 例: バーコードの種類名と文字長を挿入する



上のバーコードからバーコードデータの前にバーコードの種類名と文字長を送信します。これらの挿入をスペースで区切り、CR で終了します。

コマンド文字列: **B3F42001B4F42001F10D**

B3 は「バーコードの種類名の挿入」コマンドです

F4 は「文字を複数回挿入する」コマンドです

20 はスペースの 16 進値です

01 はスペースの送信回数

B4 は「バーコード文字長の挿入」コマンドです

F4 は「文字を複数回挿入する」コマンドです

20 はスペースの 16 進値です

01 はスペースの送信回数

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです

0D は CR の 16 進値です

データは次のように出力されます: **Code128 20 1234567890ABCDEFGHIJ<CR>**



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

B5 キーストロークを挿入する

構文= B5nnssxx (nn: 押されたキーの数 (修飾キーなし)、ss: 下の表の修飾キー、xx: 付録の「Unicode キーマップ」からのキー番号) キーストロークまたはキーストロークの組み合わせを挿入します。キーストロークはキーボードによって異なります (付録の「Unicode キーマップ」を参照)。このコマンドは、USB HID-KBW でのみ使用できます。

Key Modifiers	
No Key Modifier	00
Shift Left	01
Shift Right	02
Alt Left	04
Alt Right	08
Control Left	10
Control Right	20

たとえば、B501001F は、米国スタイルのキーボードに「a」を挿入します。

B5 = コマンド、01 = 押されたキーの数 (キー修飾子なし)、00 は修飾キーなし、1F は「a」キーです。「A」を挿入する場合は、B501011F または B501021F が入力されます。

2 回のキーストロークがある場合、構文は 1 回のキーストロークで Syntax = B5nnssxx から Syntax = B5nnssxxssxx に変わります。「aA」を挿入する例は、次のとおりです。B502001F011F。

注: 修飾キーは、必要なときに一緒に追加できます。

例: Shift Left + Alt Left + Control Left = 15



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

移動コマンド

F5 カーソルを複数の文字の前に移動する

構文= F5nn (nn:カーソルを先に移動する文字数の数値(00～99)現在のカーソル位置からカーソルを "nn"文字の前に移動します。

F5 例:カーソルを前方に移動し、データを送信します



1234567890ABCDEFGHIJ

カーソルを前方から3文字分に移動させ、残りのバーコードデータを上のバーコードから送信し、CRで終了します。

コマンド文字列: **F503F10D**

F5は「カーソルを複数の文字に移動する」コマンドです

03はカーソルを移動する文字数です。

F1は「すべての文字を送信」コマンドです

0DはCRの16進値です

データは次のように出力されます: **4567890ABCDEFGHIJ <CR>**

F6 カーソルを後方から数文字分に移動する

構文= F6nn (nn:カーソルを戻す文字数の数値(00～99)

カーソルを現在のカーソル位置から「nn」文字に戻します。

F7 カーソルを先頭に移動する

構文= F7

カーソルを入力メッセージの最初の文字に移動します。

EA カーソルを最後まで移動

構文= EA

カーソルを入力メッセージの最後の文字に移動します。



@SETUPNO

Exit Setup



Enter Setup

検索コマンド

F8 文字を前方に検索する

構文=F8xx (xx: 検索文字の 16 進値)

カーソルが "xx" 文字を指したままで、現在のカーソル位置から "xx" 文字を前方に入力メッセージを検索します。

F8 例: 特定の文字の後に始まるバーコードデータを送信する



上記のバーコードを使用から、バーコード内の "D" を検索し、"D" を含む後続すべてのデータを送信します。

コマンド文字列: **F844F10D**

F8 は「文字の前方検索」コマンドです。

44 は "D" の 16 進値です。

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです。

0D は CR の 16 進値です

データは次のように出力されます: **DEFGHIJ <CR>**

F9 後方への文字の検索

Syntax=F9xx (xx: 検索文字の 16 進値)

現在のカーソル位置から "xx" 文字を後方に入力メッセージを検索し、カーソルを "xx" 文字に向ける。

B0 前方から文字列を検索する

Syntax=B0nnnnS (nnnn: 文字列の長さ(最大 9999); S: 文字列内の各文字の ASCII 16 進数)

現在のカーソル位置から "S" 文字列を前方に検索し、"S" 文字列を指すカーソルを残す。たとえば、

B0000454657374 は、4 文字の文字列 "Test" が最初に現れる場所を検索します。



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

B0 例: 文字列の後に始まるバーコードデータを送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

上のバーコードを使用して、バーコード内の文字「FGH」を検索し、「FGH」を含む後続のすべてのデータを送信します。

コマンド文字列: **B00003464748F10D**

B0 は「文字列を検索する」コマンドです。

0003 は文字列の長さ(3 文字)です。

46 は "F" の 16 進数値です。

47 は "G" の 16 進数値です。

48 は "H" の 16 進数値です。

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです。

0D は CR の 16 進数値です。

データは次のように出力されます。FGHIJ <CR>

B1 逆方向に文字列を検索する。

構文 = B1nnnnS (nnnn: 文字列の長さ(最大 9999); S: 文字列内の各文字の ASCII 16 進数)

現在のカーソル位置から "S" 文字列を後方から検索し、"S" 文字列を指すカーソルを残す。たとえば、

B1000454657374 は、4 文字の文字列 "Test" を後方から検索します。



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

E6 一致しない文字を前方から検索する

構文=E6xx (xx: 検索文字の 16 進値)

現在のカーソル位置から最初に "xx" 文字ではない文字を検索します。

E6 例: バーコードデータの先頭にあるゼロを削除する



この例では、ゼロ詰めされたバーコードを示しています。これらのゼロを無視して、その後続くすべてのデータを送信することができます。E6 は、ゼロではない最初の文字を前方検索し、その後すべてのデータを送信し、その後に CR を送信します。

コマンド文字列: **E630F10D**

E6 は「一致しない文字を検索する」コマンドです

30 は 0 の 16 進数です

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです

0D は CR の 16 進値です

データは次のように出力されます。 **37692<CR>**

E7 後方から一致しない文字を検索する

構文=E7xx (xx: 検索文字の 16 進値)

後方から最初の "xx" 文字ではない文字を検索します。



** Exit Setup



0006010

Enter Setup

その他のコマンド

FB 文字を表示しない

構文=FBnnxxyy..zz(nn:出力させない文字数の数値(00-15)xxyy..zz:出力させない文字の 16 進数)

カーソルが他のコマンドによって進められるので、現在のカーソル位置から開始して、最大 15 の異なる文字を出力させません。

FB の例:バーコードデータのスペースを削除する



345 678 90

この例は、データにスペースを含むバーコードを示しています。スペースを削除してからデータを送信することができます。

コマンド文字列:**FB0120F10D**

FB は「抑制文字」コマンドです。

01 は抑制する文字数です。

20 はスペースの 16 進値です。

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです。

0D は CR の 16 進値です。

データは次のように出力されます。**34567890 <CR>**



@SETUPN0

Exit Setup



0006010

Enter Setup

E4 文字を置換する

構文= E4nnxx1xx2yy1yy2 ... zz1zz2 (nn:置換される文字数と置換文字の合計数、xx1:置換される文字、xx2:置換文字、zz1 と zz2 まで続く)

カーソルを動かすことなく、出力メッセージに最大 15 文字を置き換えます。

E4 例:バーコードデータの CR をゼロに置き換えます



1234056780ABC

ホストアプリケーションに含まれない文字がバーコードに含まれている場合は、E4 コマンドを使用してそれらの文字を別の文字に置き換えることができます。この例では、上記のバーコードの 0 を CR に置き換えます。

コマンド文字列: **E402300DF10D**

E4 は「文字の置換」コマンドです。

02 は置き換えられる文字の合計数と置換文字を加えたものです。(0 は CR に置き換えられ、合計文字=2)

30 は 0 の 16 進値です。

0D は CR の 16 進値です。(0 を置き換える文字)

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです。

0D は CR の 16 進値です。

データは次のように出力されます。 **1234**

5678**ABC****<CR>**

0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

BA 文字列を別の文字列に置き換える

構文 = BAnnNN1SS1NN2SS2

nn: 置換される数、nn = 00 または nn > = 置換される文字列の回数、その文字列すべてを置き換えます。

NN1: 置換する文字列の長さ、NN1 > 0。

SS1: 置換えられる文字列の各文字の ASCII 16 進値。

NN2: 置換文字列の長さ、NN2 > = 0。文字列「SS1」を NULL (すなわち、Delete の文字列「SS1」) に置き換えるには、NN2 を 00 に設定して SS2 を省略する必要があります。

SS2: 置換文字列内の各文字の ASCII 16 進値

現在のカーソル位置から、「SS1」の文字列(「NN1 の長さ」)を前方検索し、すべての「SS1」の文字列が交換されるまで、「NN2」の長さ「SS2」の文字列と置換します。

BA の例: "23" をバーコードデータの "ABC" に置き換えます



cd123abc23bc12ab232

バーコードにホストアプリケーションに含まれない文字列が含まれている場合は、BA コマンドを使用して文字列を別のものに置き換えることができます。この例では、上記のバーコードの "23" を "ABC" に置き換えます。

コマンド文字列: **BA0002323303414243F100**

BA は「文字列を別の文字列に置き換える」コマンドです。

00 は行われる置換の数、00 はその文字列のすべてを置き換えることを意味します。

02 は置換えられる文字列の長さです。

32 は 2 の 16 進値です(置換えられる文字列の文字)

33 は 3 の 16 進値です(置換する文字列の文字)。

03 は置換文字列の長さです。

41 は A の 16 進値です(置換文字列内の文字)

42 は B の 16 進値(置換文字列内の文字)です。

43 は C の 16 進値です(置換文字列内の文字)

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです。

00 は NUL の 16 進値です。



@SETUPN0

Exit Setup



Enter Setup

データは次のように出力されます。**cd1ABCabcABCbc12abABC2**

BA の例:バーコードデータの最初の"23"だけを削除する

バーコードにホストアプリケーションが削除したい文字列がある場合は、BA コマンドを使用して文字列を NUL に置き換えることができます。この例では、上記のバーコードデータの最初の"23"だけ削除します。

コマンド文字列:**BA0102323300F100**

BA は「文字列を別の文字列に置き換える」コマンドです。

01 は、置き換えの回数です。

02 は置き換えられる文字列の長さです。

32 は 2 の 16 進値です(置き換えられる文字列の文字)

33 は 3 の 16 進値です(置き換えられる文字列の文字)

00 は置換文字列の長さ、00 は置換する文字列を NUL に置き換えることを意味します。

F1 は「すべての文字を送信」コマンドです。

00 は NUL の 16 進値です。

データは次のように出力されます。**cd1abc23bc12ab232**



** Exit Setup



Enter Setup

EF 遅延を挿入する

構文=EFnnnn (nnnn:5ms 刻みの遅延、9999 まで)

現在のカーソル位置から開始して最大 49,995 ミリ秒(5 の倍数)の遅延を挿入します。このコマンドは、USB HID-KBW でのみ使用できます。

EF の例:5 番目と 6 番目の文字の間に 1 秒の遅延を挿入する

バーコードの最初の 5 文字を送信し、1 秒待ってから残りのバーコードデータを送信します。

コマンド文字列:**F20500EF0200E900**

F2 は「複数の文字を送信する」コマンドです

05 は送信する文字数です

00 は Null 文字の 16 進値です

EF は「遅延挿入」コマンドです

0200 は遅延値 (5msX200 = 1000ms = 1s)

E9 は「最後の文字をすべて送信する」コマンドです

00 はメッセージの最後に送信されない文字の数です



@SETUPN0
Exit Setup



Enter Setup

第 11 章 バッチプログラミング

イントロダクション

バッチプログラミングコマンドバッチを単一バッチバーコードに統合できるようにしました。

バッチプログラミングのルールは以下のとおりです：

1. コマンドフォーマット：コマンド + "=" + 設定値
2. 各コマンドは、セミコロン (;) で終了します。コマンドと終端のセミコロンの間にはスペースがないことに注意してください。
3. バーコードジェネレータソフトウェアを使用して、2D バッチバーコードを生成します。

例：イルミネーションのバッチ・バーコードを常に作成 (0200010)、センス・モード (0302010)、デコード・セッション・タイムアウト (0313000) = 2s:

1. 次のコマンドを入力します。

0200010; 0302010; 0313000 = 2000;

2. バッチバーコードを生成します。

上記の設定でスキャナを設定する場合は、有効バッチバーコードバーコードをスキャンし、バッチバーコードを生成します。



有効 バッチバーコード



** Exit Setup



0006010
Enter Setup

バッチコマンドの作成

バッチコマンドには、それぞれがセミコロン(;)で終わるいくつかの個別のコマンドが含まれている場合があります。

コマンド構造: コマンド(+ "=" + パラメータ値)

4つのコマンド構文を以下に示します。

1. 構文 1: コマンド

この構文は、ほとんどの構成状況に適用されます。

例: ボーレートを 38400bps に設定: **0100060**

センスモードを有効にする: **0302010**

2. 構文 2: コマンド + "=" + 数値

この構文は、最大/最小長、読取りのタイムアウト、読取り間のタイムアウト(同一バーコード)、および感度など、パラメータ値(数値)の入力を必要とする機能に適用されます。

例: 読取りタイムアウトを 3000ms に設定: **0313000 = 3000**

感度を 10 に設定する: **0312040 = 10**

3. 構文 3: コマンド + "=" + 16 進数(例えば、0x101A、0x2C03)

この構文は、カスタムプリフィックス/サフィックス、終端文字サフィックス、コード ID サフィックスのような機能に適用され、パラメータ値(16 進数)の入力が必要です。

例: 終端文字のプリフィックスを CR / LF に設定する: **0310000 = 0x0D0A**

4. 構文 4: コマンド + "=" + ダブルコーテーションで囲った文字列

構文 3 のパラメータ値が可視文字であるなら、この構文も適用できます。

例: カスタムプレフィックスを AUTO-ID に設定: **0300000 = "AUTO-ID"**



@SETUPNO
Exit Setup



Enter Setup

バッチバーコードを作成する

バッチバーコードは、PDF417、QR コードまたは Data Matrix の形式で作成できます。

例:イルミネーションのバッチバーコードを作成する常にオン、センスモード、デコードセッションタイムアウト= 2s:

1.次のコマンドを入力します。

0200010; 0302010; 0313000 = 2000;

2. QR バッチバーコードを生成します。



** Exit Setup



バッチバーコードの使す

バッチバーコードを使用するには、次のバーコードをスキャンします。（上記の例を使用してください。）



Enter Setup



有効 バッチバーコード



バッチバーコード



Exit Setup



第 12 章 トラブルシューティング

FAQ

Q:一部のバーコードを読み取ることができません。

A:

- 1.バーコードタイプを確認し、バーコードタイプが有効であることを確認します。設定にチェックデジットの確認が含まれている場合は、「無効」を選択します。
- 2.バーコードタイプがわからない場合は、すべてのシンボルを有効にします。
- 3.反転バーコード(暗い背景の白いバーコード)の場合は、ビデオリバーブ機能を有効にします。

Q:: 出力が正しくありません。

A:

- 1.この問題がすべてのバーコードとバーコードデータの前後に表示される場合は、すべてのプリフィックス/サフィックスを無効にします。
- 2.この問題が一部のバーコードのみで発生し、次のいずれかの状況に該当する場合:
 - A)バーコードデータが不完全な場合:チェックデジット確認を有効にします。
 - B)最初と最後の文字はアスタリスク(*)の場合:Code 39 のスタート・ストップ・キャラクターの送信を無効にします。
 - C)"a"が"+ A"として送信される場合:Code 39 の Full ASCII コード設定を有効にする。

Q:バーコードを読み取ることはできますが、表示することはできません。

A:シリアルポートパラメータ(ボーレート、データビット、ストップビットなど)の設定がホストの要件と一致していることを確認します。

Q:イルミネーションビームが無効です。

A:

- 1.バーコードリーダーの電源が正しく入っていることを確認します。
- 2.「？」をバーコードリーダーに送信します。バーコードリーダーが“！”の応答を返す場合は、プログラミングコマンドを送信してイルミネーションをオンにします。

Q:キャリッジリターン/ラインフィード設定。

A:

第7章の「終端文字」を参照してください。

付録

付録 1: 工場出荷時の設定

パラメータ		工場出荷時の設定	備考
プログラミングバーコード			
プログラミングバーコード		無効	
バーコードデータのプログラミング		送信しない	
通信設定			
RS-232	ボーレート	9600	
	パリティチェック	なし	
	データビット	8	
	ストップビット	1	
	ハードウェアフロー制御	フロー制御なし	
HID-KBW	ポーリングレート	1ms	
	キーボード言語設定	JAPAN	
	コンバートケース	変換なし	
	キーストロークの遅延	0ms	
	不明な文字のビープ音設定	ビープ音を鳴らさない	
	エミュレート Alt + キーパッド	無効	
	ファンクションキーマッピング	無効	
	テンキーパッドエミュレート	無効	
	コードページ	Windows 1252 (Latin I)	
PS/2	外付けキーボード	接続済み	
スキャンモード			
デフォルトのスキャンモード		マニュアルモード	

パラメータ		工場出荷時の設定	備考
マニュアルモード	読取りモード タイムアウト	3,000ms	マニュアルモード、センスモード、連続モードに適用されます。 100～3,600,000ms; 0:無限
	トリガー条件	レベルトリガー	
	自動スリープ	無効	
	アイドルからスリープまでの時間	500ms	0～65,535ms
	読取り時のタイムアウト (同じバーコード)	無効 1,500ms	 0～65,535ms
センスモード	読取りモード タイムアウト	3,000ms	マニュアルモード、センスモード、連続モードに適用されます。 100～3,600,000ms; 0:無限
	画像安定化タイムアウト	500ms	0～1,600ms
	読取り時のタイムアウト	1000ms	センスモード、連続モードに適用されます。 0～65,535ms
	読取り時のタイムアウト (同じバーコード)	無効 1,500ms	センスモード、連続モードに適用されます。 0～65,535ms
	イルミネーションのしきい値	2	1～20
連続モード	読取りモード タイムアウト	3,000ms	マニュアルモード、センスモード、連続モードに適用されます。 100～3,600,000ms; 0:無限
	読取り時のタイムアウト	1000ms	センスモード、連続モードに適用されます。 0～65,535ms
	読取り時のタイムアウト (同じバーコード)	無効 1,500ms	 0～65,535ms

パラメータ		工場出荷時の設定	備考
スキャン設定			
読取り領域		全領域読取り	
読取り領域を指定する		上 40%、下 60%、左 40%、右 60%	
イルミネーション と 照準パターン			
イルミネーション		通常	
照準パターン		通常	
ビーブ音と LED 通知			
電源投入時のビーブ音設定		有効	
読取り成功時ビーブ音設定 (プログラミングバーコード)	通知	有効	
	ビーブ タイプ	タイプ 3	
	ビーブ 音量	音量 大	
プログラミングバーコード用 読取り成功時ビーブ音		有効	
読取り成功時 LED		有効	
バッドメッセージを読む		送信しない	
		なし	
プリフィックス と サフィックス			
プレフィックスシーケンス		カスタムプリフィックス+Code ID + AIM ID	
カスタム プリフィックス		無効	
		なし	
AIM ID プリフィックス		無効	
Code ID プリフィックス		無効	
Custom サフィックス		無効	
		なし	
終端文字 サフィックス		有効	
		0x0D	CR
イメージコントロール			
画像の反転		反転しない	
データフォーマット			
データフォーマット		無効	
有効 データフォーマット		Format_0	
不一致エラービーブ音		有効	

パラメータ	工場出荷時の設定	備考
各種バーコード		
反転機能	無効	すべてのシンボルに適用可能。
Code 128		
Code 128	有効	
最大桁数	127	
最小桁数	1	
GS1-128 (UCC/EAN-128)		
GS1-128	有効	
最大桁数	127	
最小桁数	1	
AIM-128		
AIM-128	有効	
最大桁数	127	
最小桁数	1	
EAN-8		
EAN-8	有効	
チェックデジットの送信	送信する	
2 桁 アドオンコード	無効	
5 桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	無効	
JAN-13 (EAN-13) 拡張	無効	

パラメータ	工場出荷時の設定	備考
JAN-13 (EAN-13)		
JAN-13 (EAN-13)	有効	
チェックデジットの送信	送信する	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	無効	
JAN-13 (EAN-13) 290 で始まるアドオンコード必須設定	無効	
JAN-13 (EAN-13) 378/379 で始まるアドオンコード必須設定	無効	
JAN-13 (EAN-13) 414/419 で始まるアドオンコード必須設定	無効	
JAN-13 (EAN-13) 434/439 で始まるアドオンコード必須設定	無効	
JAN-13 (EAN-13) 977 で始まるアドオンコード必須設定	無効	
JAN-13 (EAN-13) 978 で始まるアドオンコード必須設定	無効	
JAN-13 (EAN-13) 979 で始まるアドオンコード必須設定	無効	
ISSN		
ISSN	無効	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	無効	
ISBN		
ISBN	有効	
ISBN フォーマット	ISBN-13	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	無効	

パラメータ	工場出荷時の設定	備考
UPC-E		
UPC-E	有効	
チェックデジットの送信	送信する	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	無効	
UPC-A 拡張	無効	
システムキャラクター "0"	送信する	
UPC-A		
UPC-A	有効	
チェックデジットの送信	送信する	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	無効	
システムキャラクター	送信する	
国コード	送信しない	
Interleaved 2 of 5		
Interleaved 2 of 5	有効	
チェックデジットを確認する	無効	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	100	
最小桁数	6	
Febraban		
Febraban	無効	
1桁あたりの送信遅延	無効	
	70ms	
12桁あたりの送信遅延	無効	
	500ms	
ITF-6		
ITF-6	無効	
チェックデジットの送信	送信しない	

パラメータ	工場出荷時の設定	備考
ITF-14		
ITF-14	有効	
チェックデジットの送信	送信しない	
Matrix 2 of 5		
Matrix 2 of 5	無効	
チェックデジットを確認する	有効	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	6	
Industrial 2 of 5		
Industrial 2 of 5	有効	
チェックデジットを確認する	無効	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	6	
Standard 2 of 5		
Standard 2 of 5	有効	
チェックデジットを確認する	無効	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	6	
Code 39		
Code 39	有効	
チェックデジットを確認する	無効	
チェックデジットの送信	送信しない	
スタート/ストップ キャラクター	送信しない	
Code 39 Full ASCII	有効	
Code 32	無効	
Code 32 プリフィックス	無効	
Code 32 チェックデジットの送信	送信しない	
Code 32 スタート/ストップ キャラクター	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	2	

パラメータ	工場出荷時の設定	備考
NW7 (Codabar)		
NW7 (Codabar)	有効	
チェックデジットを確認する	無効	
チェックデジットの送信	送信しない	
スタート/ストップ キャラクター	送信しない	
スタート/ストップ キャラクター フォーマット	ABCD/ABCD (大文字)	
最大桁数	127	
最小桁数	2	
Code 93		
Code 93	有効	
チェックデジットを確認する	有効	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	3	
GS1 Databar		
GS1 Databar	有効	
アプリケーション認識子 “01” 送信	送信する	
Code 11		
Code 11	有効	
チェックデジットを確認する	1 桁チェックデジットの 送信, MOD11	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	2	
Plessey		
Plessey	有効	
チェックデジットを確認する	有効	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	1	

パラメータ	工場出荷時の設定	備考
MSI-Plessey		
MSI-Plessey	有効	
チェックデジットを確認する	1 桁チェックデジット送信, MOD10	
チェックデジットの送信	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	2	
PDF 417		
PDF 417	有効	
最大桁数	2710	
最小桁数	1	
PDF 417 ツインコード	シングル PDF417 のみ	
文字のエンコード	エンコード初期値	
PDF417 ECI 出力	有効	
QR Code		
QR Code	有効	
Micro QR	有効	
最大桁数	7089	
最小桁数	1	
QR ツインコード	シングル QR のみ	
文字のエンコード	エンコード初期値	
QR ECI 出力	有効	
Data Matrix		
Data Matrix	有効	
長方形タイプ 設定	有効	
ミラーイメージ	有効	
最大桁数	3116	
最小桁数	1	
DM ツインコード	シングル DM のみ	
文字のエンコード	エンコード初期値	
Data Matrix ECI 出力	有効	

パラメータ	工場出荷時の設定	備考
Chinese Sensible Code		
Chinese Sensible Code	無効	
最大桁数	7827	
最小桁数	1	
Chinese Sensible Code ECI 出力	有効	

付録 2: AIM ID テーブル

シンボル	AIM ID	備考
JAN-13 (EAN-13)]E0	標準 JAN-13 (EAN-13)
]E3	JAN-13 (EAN-13) + 2/5 桁 アドオンコード
EAN-8]E4	標準 EAN-8
]E4...]E1...	EAN-8 + 2 桁 アドオンコード
]E4...]E2...	EAN-8 + 5 桁 アドオンコード
UPC-E]E0	標準 UPC-E
]E3	UPC-E + 2/5 桁 アドオンコード
UPC-A]E0	標準 UPC-A
]E3	UPC-A + 2/5 桁 アドオンコード
Code 128]C0	標準 Code 128
GS1-128 (UCC/EAN-128)]C1	FNC1 は、スタートキャラクターから 1 桁目
AIM-128]C2	FNC1 は、スタートキャラクターから 2 桁目
ISBT-128]C4	
Interleaved 2 of 5 Febraban]I0	検証後チェックデジットを送信しない
]I1	検証後チェックデジットを送信
]I3	検証後チェックデジットを送信しない
ITF-6]I1	チェックデジットを送信
]I3	チェックデジットを送信しない
ITF-14]I1	チェックデジットを送信
]I3	チェックデジットを送信しない
Industrial 2 of 5]S0	指定なし
標準 2 of 5]R0	検証後チェックデジットを送信しない
]R8	MOD10; チェックデジットを送信しない
]R9	MOD10; チェックデジットを送信
Code 39 Code 32]A0	バーコードをそのまま送信します。Full ASCII 無効。チェックデジットを確認後送信
]A1	MOD43; チェックデジットを送信
]A3	MOD43; チェックデジットを送信しない
]A4	Full ASCII 有効; 検証後チェックデジットを送信しない
]A5	Full ASCII 有効; チェックデジットを送信
]A7	Full ASCII 有効; チェックデジットを送信しない
NW7 (Codabar)]F0	標準 NW7 (Codabar)

]F2	検証後チェックデジットを送信
]F4	検証後チェックデジットを送信しない

シンボル	AIM ID	備考
Code 93]G0	標準 Code 93
Code 11]H0	MOD11; チェックデジットを送信
]H1	MOD11/MOD11; チェックデジットを送信
]H3	検証後チェックデジットを送信しない
]H9	検証後チェックデジットを送信しない
GS1-DataBar (RSS)]e0	標準 GS1-DataBar
Plessey]P0	標準 Plessey
MSI-Plessey]M0	MOD10; チェックデジットを送信
]M1	MOD10; チェックデジットを送信しない
]M7	MOD10/ MOD11; チェックデジットを送信しない
]M8	MOD10/ MOD11; チェックデジットを送信
]M9	検証後チェックデジットを送信しない
Matrix 2 of 5]X0	メーカー指定
]X1	検証後チェックデジットを送信しない
]X2	MOD10; チェックデジットを送信
]X3	MOD11; チェックデジットを送信しない
ISBN]X4	標準 ISBN
ISSN]X5	標準 ISSN
PDF417]L0	1994 年の PDF417 仕様に準拠
Data Matrix]d0	ECC000 – ECC140
]d1	ECC200
]d2	ECC200、FNC1 は、開始文字から 1 番目または 5 番目の文字です
]d3	ECC200、FNC1 は、開始文字から 2 番目または 6 番目の文字です
]d4	ECC200, ECI 含む
]d5	ECC200, FNC1 は開始文字から 1 番目または 5 番目の文字で、ECI が含まれています。
]d6	ECC200, FNC1 は開始文字から 2 番目または 6 番目の文字で、ECI が含まれています
QR Code]Q0	QR1
]Q1	2005 version, ECI 含まない
]Q2	2005 version, ECI 含む
]Q3	QR Code 2005, ECI 含まない, FNC1 は開始文字から 1 番目の文字です
]Q4	QR Code 2005, ECI 含む, FNC1 は開始文字から 1 番目の文字です

]Q5	QR Code 2005, ECI 含まない, FNC1 は開始文字から 2 文字目です
]Q6	QR Code 2005, ECI 含む, FNC1 は開始文字から 2 文字目です
Chinese Sensible Code]X0	

参照:ISO / IEC 15424:2008 情報技術 - 自動識別およびデータキャプチャ技術 - データキャリア識別子(記号識別子を含む)。

付録 3: Code ID テーブル

シンボル	Code ID
Code 128	j
GS1-128 (UCC/EAN-128)	j
AIM-128	f
EAN-8	d
JAN-13 (EAN-13)	d
ISSN	n
ISBN	B
UPC-E	c
UPC-A	c
Interleaved 2 of 5, Febraban	e
ITF-6	e
ITF-14	e
Matrix 2 of 5	v
Industrial 2 of 5	D
Standard 2 of 5	s
Code 39, Code 32	b
NW7 (Codabar)	a
Code 93	i
Code 11	H
Plessey	p
MSI-Plessey	m
GS1 Databar	R
PDF417	r
QR Code	Q
Data Matrix	u
Chinese Sensible Code	h

付録 4: ASCII テーブル

Hex	Dec	Char
00	0	NUL (Null char.)
01	1	SOH (Start of Header)
02	2	STX (Start of Text)
03	3	ETX (End of Text)
04	4	EOT (End of Transmission)
05	5	ENQ (Enquiry)
06	6	ACK (Acknowledgment)
07	7	BEL (Bell)
08	8	BS (Backspace)
09	9	HT (Horizontal Tab)
0a	10	LF (Line Feed)
0b	11	VT (Vertical Tab)
0c	12	FF (Form Feed)
0d	13	CR (Carriage Return)
0e	14	SO (Shift Out)
0f	15	SI (Shift In)
10	16	DLE (Data Link Escape)
11	17	DC1 (XON) (Device Control 1)
12	18	DC2 (Device Control 2)
13	19	DC3 (XOFF) (Device Control 3)
14	20	DC4 (Device Control 4)
15	21	NAK (Negative Acknowledgment)
16	22	SYN (Synchronous Idle)
17	23	ETB (End of Trans. Block)
18	24	CAN (Cancel)
19	25	EM (End of Medium)
1a	26	SUB (Substitute)
1b	27	ESC (Escape)
1c	28	FS (File Separator)
1d	29	GS (Group Separator)

Hex	Dec	Char
1e	30	RS (Request to Send)
1f	31	US (Unit Separator)
20	32	SP (Space)
21	33	! (Exclamation Mark)
22	34	" (Double Quote)
23	35	# (Number Sign)
24	36	\$ (Dollar Sign)
25	37	% (Percent)
26	38	& (Ampersand)
27	39	` (Single Quote)
28	40	((Left / Opening Parenthesis)
29	41) (Right / Closing Parenthesis)
2a	42	* (Asterisk)
2b	43	+ (Plus)
2c	44	, (Comma)
2d	45	- (Minus / Dash)
2e	46	. (Dot)
2f	47	/ (Forward Slash)
30	48	0
31	49	1
32	50	2
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: (Colon)
3b	59	; (Semi-colon)
3c	60	< (Less Than)
3d	61	= (Equal Sign)

Hex	Dec	Char
3e	62	> (Greater Than)
3f	63	? (Question Mark)
40	64	@ (AT Symbol)
41	65	A
42	66	B
43	67	C
44	68	D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[(Left / Opening Bracket)
5c	92	\ (Back Slash)
5d	93] (Right / Closing Bracket)

Hex	Dec	Char
5e	94	^ (Caret / Circumflex)
5f	95	_ (Underscore)
60	96	' (Grave Accent)
61	97	a
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (Left/ Opening Brace)
7c	124	(Vertical Bar)
7d	125	} (Right/Closing Brace)
7e	126	~ (Tilde)
7f	127	DEL (Delete)

付録 5: パラメータプログラミングの例

次の例は、プログラミングバーコードをスキャンしてパラメータをプログラムする方法を示しています。

読取り時モードタイムアウトをプログラムする

例: 読取り時のタイムアウトを 1500ms に設定する場合

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. 読取り時モードタイムアウトバーコードをスキャンします。（第 3 章の「読取り時のタイムアウト」を参照）
3. 数値バーコード「1」、「5」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。

B. アイドルからスリープまでの時間をプログラムする

例: アイドルからスリープまでの時間を 500ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. アイドルからスリープバーコードまでの期間をスキャンします。（第 3 章の「自動スリープ」の項を参照）
3. 数値バーコード「5」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。

C. 画像安定化タイムアウトをプログラムする

例: 画像安定化タイムアウトを 500ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
 2. 画像安定化タイムアウトバーコードをスキャンします。（第 3 章の「イメージ安定化のタイムアウト」を参照）
 3. 数値バーコード「5」、「0」、「0」をスキャンします。
 4. 保存バーコードをスキャンします。
 5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。
-

D. 読取り時のタイムアウトをプログラムする(同じバーコード)

例: 読取り時のタイムアウト(同じバーコード)を 1000ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. 読取り(同じバーコード)バーコード間のタイムアウトをスキャンします。(第 3 章の「読取り時のタイムアウト(同じバーコード)」を参照)
3. 数値バーコード「1」、「0」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

E. イルミネーション変更のしきい値を設定する

例: イルミネーションのしきい値を 4 に変更する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. イルミネーションのしきい値をスキャンします。バーコードを変更します。(第 3 章の「感度」を参照)
3. 数値バーコード「4」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

F. 読取り時のタイムアウトをプログラムする

例: 読取り時のタイムアウトを 500ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
 2. 読取りバーコード間のタイムアウトをスキャンします。(第 3 章の「読取り時のタイムアウト」を参照)
 3. 数値バーコード「5」、「0」、「0」をスキャンします。
 4. 保存バーコードをスキャンします。
 5. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。
-

G. 読取り領域をプログラムする

例: 読取り領域を上 20%、下 80%、左 20%、右 80%に設定します。

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. 特定領域のバーコードを読取ります。(第 4 章の「特定領域の読取り」を参照)
3. 読取り領域バーコードの先頭をスキャンします。(第 4 章の「読取り領域の指定」を参照)
4. 数値バーコード「2」と「0」をスキャンします。
5. 保存バーコードをスキャンします。
6. 読取り領域のバーコードの下をスキャンします。
7. 数値バーコード「8」と「0」をスキャンします。
8. 保存バーコードをスキャンします。
9. 読取り領域バーコードの左側をスキャンします。
10. 数値バーコード「2」と「0」をスキャンします。
11. 保存バーコードをスキャンします。
12. 読取り領域バーコードの権利をスキャンします。
13. 数値バーコード「8」と「0」をスキャンします。
14. 保存バーコードをスキャンします。
15. Exit Setup バーコードをスキャンします。
(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

H. カスタムプリフィックス/サフィックスをプログラムする

例: カスタムプリフィックスを "CODE"に設定する

1. ASCII テーブルの "CODE"の 16 進値を確認します。(「CODE」:43,4F、44,45)
 2. Enter Setup バーコードをスキャンします。
 3. Set Custom プリフィックスバーコードをスキャンします。(第 7 章の「カスタム・プリフィックスの設定」の項を参照してください)
 4. 数値バーコード「4」、「3」、「4」、「F」、「4」、「4」、「4」、「5」をスキャンします。
 5. 保存バーコードをスキャンします。
 6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。
-

I. 終端文字をプログラムする

例: 終端文字を 0x0D に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. Set 終端文字バーコードをスキャンします。(第 7 章の「終端文字の設定」を参照)
3. 数値バーコード「0」と「D」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

J. Code ID をプログラムする

例: PDF 417 の Code ID を "p" に設定する

1. ASCII テーブルの "p" の 16 進値を確認します。 (「p」:70)
2. Enter Setup バーコードをスキャンします。
3. PDF417 Code ID バーコードの変更をスキャンします。(第 7 章の「Code ID の変更」を参照)
4. 数値バーコード「7」と「0」をスキャンします。
5. 保存バーコードをスキャンします。
6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

K. 不正な読取りメッセージをプログラムする

例: 不正な読取りメッセージを「! ERR」に設定する

1. ASCII テーブルの "! ERR" の 16 進値を確認します。 (「! ERR」:21,45,52,52)
 2. Enter Setup バーコードをスキャンします。
 3. Set Bad Read Message バーコードをスキャンします。(第 6 章の「Bad Read メッセージの設定」を参照)
 4. 数値バーコード「2」、「1」、「4」、「5」、「5」、「2」、「5」、「2」をスキャンします。
 5. 保存バーコードをスキャンします。
 6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。
-

L. コードページをプログラムする

例:コードページを Windows 1251 (キリル文字)に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
- 2.コードページのバーコードを設定します。(第2章の「コードページ」を参照)
- 3.数値バーコード「1」をスキャンします。
- 4.保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

M. 各種バーコードの桁数範囲(最大桁数/最小桁数)をプログラムする

注:最小桁数が最大桁数より大きく設定されている場合、スキャナは最小または最大桁数のバーコードのみを読み取りします。特定の長さのバーコードのみを読み取る場合は、最小桁数と最大桁数の両方を希望の長さに設定します。

例:8～12 文字のコード 128 のバーコードを読み取りするようにスキャナを設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
- 2.[最小桁数の設定]バーコードをスキャンします。(第7章の「コード 128 の桁数範囲の設定」を参照)
- 3.数値バーコード「8」をスキャンします。
- 4.保存バーコードをスキャンします。
- 5.[最大桁数の設定]バーコードをスキャンします。(第7章の「コード 128 の桁数範囲の設定」を参照)
- 6.数値バーコード「1」と「2」をスキャンします。
- 7.保存バーコードをスキャンします。
8. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

N. カスタム キーストロークの遅延をプログラムする

例:キー間遅延を 5ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
 - 2.カスタム遅延バーコードをスキャンします。(第2章の「キーストローク間遅延」を参照)
 - 3.数値バーコード「0」と「5」をスキャンします。
 4. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。
-

O. Windows 1251 でエンコードされたロシア語の適切な出力を得るためにスキャナをプログラムする

例:コードページを Windows 1251 (キリル文字)に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
- 2.コードページのバーコードを設定します。(第 2 章の「コードページ」を参照)
- 3.数値バーコード「1」をスキャンします。
- 4.保存バーコードをスキャンします。
- 5.アプリケーションが必要とするバーコード種に従って、適切なエンコーディング初期値バーコードをスキャンします(第 8 章の「文字エンコーディング」の項を参照)。
- 6.第 2 章の「エミュレート ALT +キーパッド」からモード 3 のバーコードをスキャンします。
7. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

P. スキャナをプログラミングして、UTF-8 でエンコードされたロシア語を出力する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
 - 2.コードページのバーコードを設定します。(第 2 章の「コードページ」を参照)
 - 3.数値バーコード「1」をスキャンします。
 - 4.付録 7 から保存バーコードをスキャンします。
 - 5.アプリケーションが必要とするシンボルに従って、適切な UTF-8 バーコードをスキャンします(第 8 章の「文字エンコード」の項を参照)。
 - 6.第 2 章の「エミュレート ALT +キーパッド」からモード 3 のバーコードをスキャンします。
 7. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。
-

Q. Febraban の 1 桁あたりのカスタム送信遅延をプログラムする

例: 1 桁あたりの送信遅延を 5ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. カスタム 1 桁あたりの送信遅延バーコードをスキャンします。(第 8 章の「送信遅延」を参照)
3. 数値バーコード「5」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. 有効 1 桁あたりの送信遅延バーコードをスキャンします。(第 8 章の「送信遅延」を参照)
6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

R. Febraban の 12 桁あたりのカスタム送信遅延をプログラムする

例: 12 文字あたりの送信遅延を 600ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. カスタム 12 桁あたりの送信遅延バーコードをスキャンします。(第 8 章の「送信遅延」を参照)
3. 数値バーコード「4」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. 有効 12 桁あたりの送信遅延バーコードをスキャンします。(第 8 章の「送信遅延」を参照)
6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

付録 6: 数値バーコード(設定用)





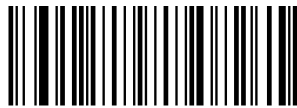
@DIGITA

A



@DIGITB

B



@DIGITC

C



@DIGITD

D



@DIGITE

E



@DIGITF

F

付録 7: バーコードの保存/取り消し(設定)

数値バーコードを読み取ったら、保存するために保存バーコードをスキャンする必要があります。間違った数字をスキャンする場合は、キャンセルバーコードをスキャンして設定をもう一度開始するか、最後の数字を削除するバーコードをスキャンしてから正しい数字をスキャンしてください。

全桁削除バーコードをスキャンしてから、必要な数字をスキャンします。

たとえば、最大桁数のバーコードと数値バーコード「1」、「2」、「3」を読み取った後、次のようにスキャンします。

たとえば、最大桁数のバーコードと数値バーコード「1」、「2」、「3」を読み取った後、次のようにスキャンします。

- 最後の桁を削除:最後の桁 "3"が削除されます。
- 全桁削除:すべての数字「123」が削除されます。
- キャンセル:最大桁数の設定がキャンセルされます。 スキャナはまだセットアップモードになっています。



付録 8: 数値バーコード(タイムアウト用)



0



5



1



6



2



7



3



8



4



9



A



B



C



D



E



F

付録 9: バーコードの保存/取り消し(タイムアウト用)

数値バーコードを読み取ったら、保存するために保存バーコードをスキャンする必要があります。間違った数字をスキャンする場合は、キャンセルバーコードをスキャンして設定をもう一度開始するか、最後の数字を削除するバーコードをスキャンしてから正しい数字をスキャンしてください。

全桁削除バーコードをスキャンしてから、必要な数字をスキャンします。

たとえば、最大桁数のバーコードと数値バーコード「1」、「2」、「3」を読み取った後、次のようにスキャンします。

たとえば、最大桁数のバーコードと数値バーコード「1」、「2」、「3」を読み取った後、次のようにスキャンします。

- 最後の桁を削除:最後の桁 "3"が削除されます。
- 全桁削除:すべての数字「123」が削除されます。
- キャンセル:最大桁数の設定がキャンセルされます。 スキャナはまだセットアップモードになっています。

.



0000160

保存



0000170

最後の桁を削除 t



0000180

全桁削除



0000190

キャンセル

.

付録 10: ASCII ファンクションキーマッピングテーブル

ASCII ファンクション	ASCII Value (HEX)	No Function Key Mapping	Function Key Mapping
NUL (Null char.)	00	Null	Ctrl+2
SOH (Start of Header)	01	Keypad Enter	Ctrl+A
STX (Start of Text)	02	Caps Lock	Ctrl+B
ETX (End of Text)	03	Null	Ctrl+C
EOT (End of Transmission)	04	Null	Ctrl+D
ENQ (Enquiry)	05	Null	Ctrl+E
ACK (Acknowledgment)	06	Null	Ctrl+F
BEL (Bell)	07	Enter	Ctrl+G
BS (Backspace)	08	Left Arrow	Ctrl+H
HT (Horizontal Tab)	09	Horizontal Tab	Ctrl+I
LF (Line Feed)	0A	Down Arrow	Ctrl+J
VT (Vertical Tab)	0B	Vertical Tab	Ctrl+K
FF (Form Feed)	0C	Delete	Ctrl+L
CR (Carriage Return)	0D	Enter	Ctrl+M
SO (Shift Out)	0E	Insert	Ctrl+N
SI (Shift In)	0F	Esc	Ctrl+O
DLE (Data Link Escape)	10	F11	Ctrl+P
DC1 (XON) (Device Control 1)	11	Home	Ctrl+Q
DC2 (Device Control 2)	12	Print Screen	Ctrl+R
DC3 (XOFF) (Device Control 3)	13	Backspace	Ctrl+S
DC4 (Device Control 4)	14	tab+shift	Ctrl+T
NAK (Negative Acknowledgment)	15	F12	Ctrl+U
SYN (Synchronous Idle)	16	F1	Ctrl+V
ETB (End of Trans. Block)	17	F2	Ctrl+W
CAN (Cancel)	18	F3	Ctrl+X
EM (End of Medium)	19	F4	Ctrl+Y
SUB (Substitute)	1A	F5	Ctrl+Z
ESC (Escape)	1B	F6	See the following table
FS (File Separator)	1C	F7	
GS (Group Separator)	1D	F8	
RS (Request to Send)	1E	F9	
US (Unit Separator)	1F	F10	

ASCII ファンクションキーマッピングテーブル(続き)

前の表の最後の 5 文字のファンクションキーのマッピングは、キーボードレイアウトにより異なります。

国/キーボード・ レイアウト	ファンクションキーマッピング				
	1B	1C	1D	1E	1F
アメリカ	Ctrl+[Ctrl+\	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-
ベルギー	Ctrl+[Ctrl+<	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-
スカンジナビア	Ctrl+8	Ctrl+<	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-
フランス	Ctrl+^	Ctrl+8	Ctrl+\$	Ctrl+6	Ctrl+=
ドイツ		Ctrl+Ã	Ctrl++	Ctrl+6	Ctrl+-
イタリア		Ctrl+\	Ctrl++	Ctrl+6	Ctrl+-
スイス		Ctrl+<	Ctrl+.	Ctrl+6	Ctrl+-
イギリス	Ctrl+[Ctrl+ ¢	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-
デンマーク	Ctrl+8	Ctrl+\	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-
ノルウェー	Ctrl+8	Ctrl+\	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-
スペイン	Ctrl+[Ctrl+\	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-

付録 11 コードページリスト

必要な数値バーコード	コードページ
0	Windows 1252 (Latin I)
1	Windows 1251 (Cyrillic)
11	Windows 874 (Thai)

付録 12: シンボル ID Number

シンボル	ID Number
Code 128	002
UCC/EAN128	003
EAN-8	004
JAN-13 (EAN-13)	005
UPC-E	006
UPC-A	007
Interleaved 2 of 5, Febraban	008
ITF-14	009
ITF-6	010
Matrix 2 of 5	011
Code 39, Code 32	013
NW7 (Codabar)	015
Code 93	017
AIM-128	020
ISSN	023
ISBN	024
Industrial 25	025
Standard 25	026
Plessey	027
Code11	028
MSI-Plessey	029
GS1 Databar	031
PDF417	032
QR Code	033
Data Matrix	035
Chinese Sensible Code	039

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E					
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5A	5F	64	69
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	1D	4C	51	56	5B	60	65	
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2B					5C	61	66	6A
2C	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39			53			5D	62	67	
3A	3B	3C					3D				3E	3F	38	40	4F	54	59	63	68	6C

104 キー 米国キーボード

